

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項に基づく

教育委員会の点検・評価報告書

(平成21年度対象)



平成22年9月

八街市教育委員会

11月12日は「やちまた教育の日」

八街市教育委員会では、「ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた」の具現化に向け、明日の八街市を担う、夢をいただき心豊かでたくましく生きる子ども達を育てるため、様々な施策を展開しているところであります。

次代を担う人々が、八街で生まれ育ったことを誇りとし、健やかに成長していくためには、学校・家庭・地域の相互の連携を推進するとともに、市民一人ひとりが教育に対する理解と関心を深め、それぞれの場で役割を担い、やちまたのひとづくりに積極的に参加していただくことが不可欠であります。

八街市教育委員会では、〈学校改善〉〈継続指導〉〈学校・家庭・地域との連携〉の3つの柱を視点とした『幼小中高連携教育』を全国に先がけ平成9年から取り組み、その成果を平成16年に全国公開で発表した、11月12日を「やちまた教育の日」と定め、併せて11月を「やちまた教育の日月間」として決めました。

〈平成22年4月1日制定〉

八街市教育委員会

青少年健全育成都市宣言

ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまたを発展させ、次代の八街を創る者は、青少年です。

青少年が、夢、希望を持ち、自由と責任を自覚しながら、たくましく生きていく力を蓄え、広く社会に役立つ人材に成長することは市民すべての願いです。この願いを実現するため、青少年自らの努力を期待するとともに、家庭、学校、地域社会が一体となり、優しさと潤いのある環境の中で、青少年を心身共に健やかに育てることを決意し、ここに八街市を『青少年健全育成都市』とすることを宣言する。

〈平成20年3月19日制定〉

八 街 市

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項 に基づく教育委員会の点検・評価について(総括)

1 点検評価の目的及び対象

効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、教育委員会は、毎年その権限に属する事務(教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないとされました。

そこで、教育委員会では平成21年度執行の教育委員会の権限に属する全ての事務事業について、決算状況を踏まえた上で点検評価を行いました。

2 点検評価の期日

- ①担当課による一次評価 平成22年6月18日
- ②教育委員会による二次評価 平成22年7月23日
- ③教育に関して知見を有する者を活用した総合評価 平成22年8月20日

3 点検評価の方法

1) 教育委員会事務局等の評価

平成22年度の点検及び評価の実施にあたっては、平成20年度に策定した「八街市教育委員会事務事業評価実施要領」により作成された、教育委員会事務事業評価シートを精査し、一次評価として位置づけ関係職員から事情を聴取することによって評価を実施しました。

評価にあたりましては、一次評価でそれぞれ細目にわたり4段階評価がされておりますが、その結果を勘案したうえで、必要性、有効性、効率性、公平性並びにこの結果を踏まえた総合評価を、それぞれ評価の高い順から A B C D の4段階評価で実施致しました。

さらにこの評価結果について、外部(教育に関して知見を有する方2名)の評価を受け、それぞれの事務事業の総合評価といたしました。

点検評価の結果については、別添事務事業評価結果一覧表のとおりです。

2) 幼稚園、小中学校の評価

平成21年度においては、教育委員会の所管する全ての幼稚園、小中学校の教育委員会訪問を行いました。その際、授業の状況などを参観するとともに、学校長等から

学校運営、学校の課題、学校の現状などの説明を受け、質疑応答を行うことなど、学校の状況を把握することに努めました。

なお、学校が行った学校評価は、内部評価、外部評価を実施していますが、学校ごとに調査方法、質問事項、まとめ方等も異なっていることから、このうち保護者を対象としたアンケート調査の結果のうち、県のみんなで取り組む『教育立県千葉』プラン(千葉県教育振興基本計画)に数値目標が掲げられている、①子どもの様子(規範意識や協調性)に関する項目、②学習指導に関する項目、③学校・家庭・地域が連携して子どもを育てる項目の3項目に関する結果を抜粋し検証することとしました。

なお、評価項目については、A・B・C・Dの4段階評価を採用しているところがほとんどでした。また、評価を学期ごとあるいは2学期のみに実施している学校もありましたが、結果は最終の実施のものを評価することとしました。結果は今後学校等に示し、学校の運営にあたっての参考に資することいたします。

4 平成21年度事業の概要

八街市教育委員会では、平成21年度に於いては、八街市総合計画2005における、八街市がめざす将来都市像である、「ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた」実現に向け、Ⅰ 『生涯学習の推進』、Ⅱ 『学校教育の充実』、Ⅲ 『社会教育の充実』、Ⅳ 『スポーツ・レクリエーションの振興』に努め、様々な事業を展開したところであります。

具体的な施策と致しましては、

- I 『生涯学習の推進』では、《いつでも、どこでも、だれでも学びたいことを学べる生涯学習の構築につとめる》
- II 『学校教育の充実』では、《豊かな心をもち、夢をいただき、たくましく生きる幼児・児童・生徒の育成をはかる》
- III 『社会教育の充実』では、《市民の多様化・複雑化・高度化するさまざまな学習課題に対応できる社会教育の実践に努める》
- IV 『スポーツ・レクリエーションの振興』では、
《スポーツ・レクリエーションの活動に親しむ機会の拡充や指導者の育成、施設の整備を促進し、その振興に努める》

と定め、この方針に基づいた事業に取りくんでおります。

具体的な事業内容等については、平成22年度教育要覧及び平成21年度八街市歳入歳出決算に係る主要施策の成果の説明書をご覧ください。

5 まとめ

今回教育委員会が行った事務事業の評価結果は、事務事業評価結果一覧表のとおりであります。

教育委員会では、平成21年度に執行した事務事業については、所期の目的に添って執行されており、全ての事務事業において概ね適正であったと判断いたしました。

総合評価(外部評価)としては、今回から2名の方にお問い合わせしましたので、相違はありますがそれぞれの評価を記載しました。

教育委員会事務局所管の事務事業については、外部評価結果の中にはC評価もあり、事業のあり方について見直し改善が必要であるとされる事業もありますが、全体的には概ね計画どおりの遂行が出来ているとの評価をいただいております。

しかし、評価の低い事業について、効果的な予算措置などに配慮を要すること、また、スポーツ大会等の実施にあたって、事業及び地域の活性化につながる事業展開への配慮についての指摘がございましたので、今後の事業実施にあたって配慮すべき事項としてまいります。

幼稚園・小中学校については、すべての施設訪問を行い、学校の状況を把握するなかでは、適正な運営がされているものと判断されますが、学校が行った外部評価の結果などを勘案すると、一層の全体的なレベル向上に努め、すばらしい地域づくりにつなげてもらいたいとの意見がありました。

なお、この評価結果につきましては、ホームページ等を活用し、公表を行いますので、関係各位の忌憚無いご意見をいただき、今後の事務事業遂行に反映してまいりたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

- ※参考資料： 1 教育委員会の事務事業評価シート
2 学校評価結果



事務事業評価結果一覧表

番号	評価シート 番号	所管課等	事務事業名	事務事業の評価 (教育委員会評価)				総合評価 (外部評価)	
				必要性 妥当性	有効性	効率性	公平性		
1	1 -1 -1	庶務課	教育委員会の開催(教育委員会費)	A	A	A	A	A	A
2	1 -3 -1	学校教育課	校内適応教室補助教員配置事業	A	A	B	B	A	B
3	-2	学校教育課	小・中学校特別支援教育支援員配置事業	A	B	B	B	B	B
4	-3	学校教育課	教育指導事業	A	B	B	B	B	B
5	-4	学校教育課	英語指導助手派遣事業	A	A	A	A	A	A
6	-5	学校教育課	教育センター運営事業	A	B	B	A	B	B
7	-6	学校教育課	教育支援センター管理運営事業	A	B	B	B	B	B
8	-7	学校教育課	育て八街っ子推進事業	A	A	A	A	A	A
9	-8	学校教育課	幼小中高連携推進事業	A	B	B	B	B	B
10	-9	学校教育課	小・中学校ゲストティーチャー活用事業	A	A	A	A	A	A
11	-10	学校教育課	小・中学校教育振興事業 (児童、生徒、教師用図書)	A	A	A	A	A	A
12	-11	学校教育課	小・中学校教材備品等購入事業	A	A	A	A	A	A
13	-12	学校教育課	小・中学校理科教育振興備品購入事業	A	A	A	A	A	A
14	-13	学校教育課	小・中学校児童、生徒援助奨励事業	A	A	A	C	B	B
15	2 -1 -1	庶務課	小学校施設維持管理事業	A	A	B	A	A	A
16	-2	庶務課	小学校施設整備事業	A	A	B	A	A	A
17	-3	庶務課	小学校ICT環境整備事業	A	A	A	A	A	A
18	2 -3 -1	庶務課	交進小学校校舎改築事業	A	A	A	A	A	A
19	-2	庶務課	笹引小学校校舎改築事業	A	A	A	A	A	A
20	-3	庶務課	八街東小学校校舎改築事業	A	A	A	A	A	A

番号	評価シート 番号	所管課等	事務事業名	事務事業の評価 (教育委員会評価)				総合評価 (外部評価)	
				必要性 妥当性	有効性	効率性	公平性		
21	-4	庶務課	実住小学校屋内運動場耐震補強事業	A	A	A	A	A	A
22	3 -1 -1	庶務課	中学校施設維持管理事業	A	B	A	A	A	A
23	-2	庶務課	中学校施設整備事業	A	B	A	A	A	B
24	-3	庶務課	中学校ICT環境整備事業	A	A	A	A	A	A
25	3 -3 -1	庶務課	八街中学校耐震補強事業	A	A	A	A	A	A
26	-2	庶務課	八街中学校武道場建設事業	A	A	A	A	A	A
27	4 -1 -1	庶務課	幼稚園施設維持管理事業	A	B	A	A	A	A
28	-2	庶務課	幼稚園施設整備事業	A	B	B	A	A	B
29	-3	庶務課	私立幼稚園就園奨励費補助事業	A	B	B	A	B	B
30	-4	庶務課	私立幼稚園運営費助事業	A	B	B	A	B	B
31	-5	庶務課	幼稚園特別支援事業	A	A	A	A	A	A
32	-6	庶務課	幼稚園ICT環境整備事業	A	B	A	A	A	A
33	5 -1 -1	社会教育課	社会教育総務費	A	A	A	A	A	A
34	-2	社会教育課	生涯学習振興事業	A	B	B	A	B	B
35	-3	社会教育課	文化振興事業	A	B	B	B	B	C
36	-4	社会教育課	文化財保護事業	A	A	A	A	A	A
37	-5	社会教育課	青少年健全育成事業	A	B	B	A	B	B
38	-6	社会教育課	たけのこの里管理運営事業	A	B	B	B	B	C
39	-7	社会教育課	こども110番支援事業	A	B	B	A	B	B
40	5 -2 -1	中央公民館	中央公民館管理運営費(管理関係)	A	B	B	A	A	B

番号	評価シート 番号	所管課等	事務事業名	事務事業の評価 (教育委員会評価)				総合評価 (外部評価)	
				必要性 妥当性	有効性	効率性	公平性		
41	-2	中央公民館	中央公民館管理運営費(講座関係)	A	B	A	A	A	A
42	-3	中央公民館	中央公民館整備事業	A	A	A	A	A	A
43	5 -3 -1	図書館	図書館管理運営費 (図書館の資料収集、読書の普及、利用促進)	A	B	B	A	A	B
44	-2	図書館	図書館管理運営費 (臨時職員の雇用、施設等の維持管理など)	A	B	B	B	B	C
45	5 -4 -1	視聴覚教材 センター	視聴覚教材センター管理運営事業	B	B	C	B	B	C
46	-2	視聴覚教材 センター	視聴覚教材整備事業	B	B	B	B	B	C
47	5 -5 -1	郷土資料館	郷土資料館管理運営事業	A	B	A	A	A	A
48	5 -6 -1	郷土資料館	市史編さん事業	A	B	A	A	A	A
49	6 -1 -1	スポーツ振興課	スポーツ振興等事業(保健体育総務費)	A	A	A	A	A	A
50	-2	スポーツ振興課	各種スポーツ大会の開催等(体育振興費)	A	A	A	A	A	A
51	-3	スポーツ振興課	市民体育祭の開催(市民体育祭運営費)	A	B	B	A	B	B
(新型インフルエンザにより実施しなかったが、事業として評価)									
52	-4	スポーツ振興課	八街市ピーナッツ駅伝大会の開催 (八街市ピーナッツ駅伝大会運営費)	A	A	A	A	A	A
53	-5	スポーツ振興課	学校施設のスポーツ開放事業 (学校開放推進費)	A	A	A	A	A	A
54	6 -2 -1	学校教育課	学校保健事業	A	A	A	A	A	A
55	-2	学校教育課	学校保健管理事業	A	A	A	A	A	A
56	6 -3 -1	スポーツ振興課	体育施設の維持管理事業 (体育施設維持管理費)	A	A	A	A	A	A
57	6 -4 -1	スポーツ プラザ	スポーツプラザ管理運営事業	A	B	A	A	A	A
58	-2	スポーツ プラザ	スポーツプラザ整備事業	A	A	A	A	A	A
59	K -1 -1	学校給食 センター	学校給食センター一般管理事業	A	A	A	B	A	A
60	-2	学校給食 センター	学校給食センター調理場維持管理事業	A	A	B	A	A	A
61	-2 -1	学校給食 センター	学校給食センター調理場給食事業	A	A	A	A	A	A

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 1-1-1

Plan 事務事業の概要

事務事業名	教育委員会議の開催(教育委員会費)						部局等	教育委員会	
							課	庶務課	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画)	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						
		具体的施策							
		実施計画				開始	2005	終了	2009
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容	めざそう値(目標設定)の考え方		現状値		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 八街市教育委員会会議規則	
直接の対象者(～に対して)	市民						最終的な受益者	市民	
事業目的(～という状態にするために)	教育行政について、広く社会の常識や市民のニーズを反映させるため、大所高所から審議を行い、基本的方針や具体的な施策の実施内容について合議制により決定する。								
具体的な事業内容(～を行う)	教育委員会定例会及び臨時会の開催 学校等教育機関の訪問 効果的な施策の実施のため事務事業の点検評価を行う。								
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目							

D. 事務事業の実施

区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
③ 実績・成果	事業の実績	教育委員会定例会・臨時会・協議会開催数	回	19	18	17	16
	事業の効果	教育委員会議案審議件数	件	60	51	66	
		学校訪問	校	16	16	16	16
事業効果に関する外部要因							
事業効果の総合分析(達成できたこと)		市の教育行政を審議決定する機関であり、経費の節減に努めるとともに効率的な執行を図った。教育行政にかかる基本方針や重要施策を審議・決定し、市教育行政の的確な実施・運営に努めた。					
区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
④ 事業コスト	(最終)予算額	千円	2,515	2,488	2,485	2,493	
	決算額	千円	2,476	2,461	2,464	0	
		特定・その他財源()	千円				
		一般財源	千円	2,476	2,461	2,464	
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報酬	2,304				
		旅費	2				
		負担金	158				

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか		a	市の教育行政に対する市民のニーズは高くなっており、また、その教育行政の重要施策を審議・決定する教育委員会の会議は、市民の生活に直接反映されるため必要である。	
市の関与は妥当ですか			a	法に基づき市教育行政の重要事項を審議、決定する機関であり不可欠である。		
有効性	期待された効果は得られていますか		a	年間17回の定例会。臨時会を開催し、同時に学校訪問を実施し、現状の把握に努めた。		A
効率性	事業の効率性を高められますか		a	月1回の定例会において、集中的に審議を行うことで、効率的な執行を行っている。また、審議の内容により臨時会を開催することもあるが、経費等には影響しない。		A
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか		a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	教育委員会で決定された教育施策は、市の教育行政全体へ反映されるため、公平に問題はない。	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題			定例会議等を適時に開催するとともに、市のホームページで会議録(非公開部分を除く)を公開するなど、透明性に努め、市民のニーズに応えるための工夫が図られている。		A A
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	22年度における取組のPRと方向性	教育を取り巻く環境が激変する中で、教育委員会は実態を把握しより実効的な活動をするため、17年度から実施している学校訪問を引き続き実施します。 会議録は非公開部分を除き、引き続きホームページで公開していく。 また、「やちまた教育の日」制定にあたり、PRに努める。 なお、事務事業の的確な評価を行うとともに、次年度に反映させるため、早期の実施を行う。				
	事務事業の今後の方向性	教育委員会は、教育行政の重要事項を審議、決定する機関であり、継続して実施していかなければならない。 さらに現状を把握し、的確な審議判断を行うとともに、会議を通して教育委員会の一層の活性化を図ることに努める。				
取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 1-3 -1

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	校内適応指導教室補助教員配置事業						部局等	教育委員会			
							課	学校教育課			
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025		
		施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感ずる街						職・氏名	指導主事・松岡広明	
	具体的施策	子どもの教育・健全育成の充実						電話番号	443-1446	内線	2362
	(八街市総合計画)	実施計画	学校教育の充実			開始	2005	終了	2009		
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	八街市立小学校及び中学校管理規則第4条の2				
直接の対象者(～に対して)	各中学校					最終的な受益者	不適応生徒				
事業目的(～という状態にするために)	様々な原因で不適応を起こした生徒を、学級集団に適応(復帰)できるようにするため										
具体的な事業内容(～を行う)	校内の別教室における個に応じた指導を行う。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③実績・成果	事業の実績	区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)				
		八街市立中学校校内適応指導教室補助教員配置	人	4	4	4	4				
	事業の効果	学級集団への適応									
		校内の別教室への登校									
	事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析(達成できたこと)	生徒一人一人に応じた適応指導を行い、学校生活に不適応を起こした生徒の学級集団への復帰を促すことができ、結果として長期欠席者の拡大阻止をすることができた。										
④事業コスト	区分	単位		19年度	20年度	21年度	22年度(目標)				
	(最終)予算額	千円		9,033	9,077	9,098	9,112				
	決算額	千円		9,041	9,069	9,095	0				
		特定・その他財源()	千円			1,022					
	一般財源	千円		9,041	9,069	8,073					
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	校内適応指導教室補助教員保険料		2055								
	校内適応指導教室補助教員		7040								

Check 事務事業の評価							
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	自分の子どもが学校不適応を起こし、教室に入れなくなってしまったらどうするか。学校不適応は、どの子どもにも起こりえる問題であり、教室に入れない児童・生徒やその保護者にとっては、このような場所があることで救われることになり、市民のニーズは大きいと言える。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	教科指導・生徒指導・部活動・行事の運営など、多忙化する学校現場において、校内適応指導教室補助教員を配置することで、学校不適応を起こしている子どもと時間をかけてしっかり向き合うことが可能となる。心の問題に専門的に向き合う職員を配置することこそ「ヒューマン・フィールド八街」にふさわしいと考えられる。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	学校生活に不適応を起こした生徒が学級集団に復帰するには、一人ひとりに個別に対応していく必要がある。そのためには、十分な時間をかけ、向き合う必要があり、成果も必ずしもすぐに出るというものではない、と考える。		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	専門的な技能を持つ方にきちんと報酬を出すという意味では、現状が精一杯であると考え、団塊の世代の大量退職に伴い、そのような方が地域にいる可能性もあるので、そういった意味での検討の余地はあると考える。		B	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	不適応の問題は、誰がこのような状態に陥るのか予測ができないので、特定の個人に受益者が偏っていると考えられない。	B	
総合評価	総括及び事業実施上の課題		学校不適応で困っている人を数で判断せず、一人ひとりに時間をかけて向き合うことが大切である。一人を大切にすることは、「ヒューマン・フィールド八街」の明日をつくっていくために大変意義のあることであると考え。		A B		
Action 今後の事務事業の方向							
⑥	22年度における取組のPRと方向性	職員研修を行い、専門性を高める。職員同士のネットワークづくりをする。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
		支援を必要とする目の前の子どもたちにじっくりと話を聞き、支えていくために本事業は意義あるものであると考える。そのために専門性を磨き、さらにそこで得られた情報が、学校という組織の中で有効に活用されるようなしくみを学校とともに整えていきたい。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 1-3-2

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	小・中学校特別支援教育支援員配置事業						部局等	教育委員会		
							課	学校教育課		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了	2025
		施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街							
	具体的施策	子どもの教育・健全育成の充実								
	(八街市総合計画)	実施計画	学校教育の充実			開始	2005	終了	2009	
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方			現状値
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	八街市立小学校及び中学校管理規則第4条の2			
直接の対象者(～に対して)	特別支援学級および通常学級に在籍する特別な教育的ニーズを持つ児童・生徒					最終的な受益者	児童・生徒			
事業目的(～という状態にするために)	個に応じた支援を行うために									
具体的な事業内容(～を行う)	支援員を配置し、各学校の実情に応じて活用する。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)			
	事業の実績	八街市立小中学校特別支援教育支援員配置	人	5	8	9	11			
	事業の効果	特別支援学級在籍児童・生徒への支援								
		通常学級在籍児童・生徒への支援								
事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析(達成できたこと)	特別な教育的ニーズを持つ児童・生徒は特別支援学級だけに限らず、通常学級においても存在する。児童・生徒が学校生活を充実させ、個々の能力を伸ばす上で特別支援教育支援員の効果は大きいと考える。									
④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	6,766	12,068	15,312	18,744			
	決算額			千円	6,743	11,562	15,042	0		
		特定・その他財源()	千円			1,608				
	一般財源	千円		6,743	11,562	13,434				
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		特別支援教育支援員保険料		3234						
		特別支援教育支援員		11808						

Check 事務事業の評価

⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	特別支援学級在籍児童・生徒は年々増えており、通常学級においても特別な教育的ニーズを持つ児童・生徒が在籍しており、市民のニーズは高いと考えられる。	A	
	市の関与は妥当ですか	a	「障がい者制度改革推進会議」でも、インクルーシブ教育の方向性は明らかで、地元の小・中学校での特別支援教育の重要性が今後もますます増すものと考えられる。			
有効性	期待された効果は得られていますか	a	特別な教育的ニーズを持つ児童・生徒へは一人ひとりの障害に応じたきめ細かい支援が必要であり、特別支援教育支援員を配置することによりこうした児童・生徒への支援がより充実しているものと考えられる。	B		
効率性	事業の効率性を高められますか	b	一人ひとり異なる障害の様子に応じて児童・生徒の能力を可能な限り発揮させ、自立と社会参加へ向けた支援をしていく特別支援教育の考え方をしっかり理解し実践できる方が、団塊の世代の大量退職に伴い地域にいれば、検討の余地がある。	B		
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし 特別支援教育の充実は、特別支援学級に置いてのみの支援でなく、通常学級に置いても図られる。特別な教育的ニーズを持つ児童・生徒への支援が充実すれば、二次障害として発生するさまざまな問題も解消する可能性があり、学校全体が落ち着き他の児童・生徒も含めて有効に作用するものと期待される。	B		
総合評価	総括及び事業実施上の課題		特別支援学級在籍児童・生徒は年々増えており、今後もますます特別な教育的ニーズを要する児童・生徒が増加することが考えられなくはない。児童・生徒に必要な支援の一つとして、特別支援教育支援員は重要であり、実態として複数配置が必要な学校も出てきている。	B	B	

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	就学する子どもの情報を早めに集め、特別支援教育支援員の配置を計画的に行う。						
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 特別な教育的ニーズを持つ子どもたちが就学前から就労まで一貫した支援を受けられるよう、市としてどのような体制を整えていくのか検討し、その中の一つとして本事業をより充実させ、市民に安心感を与えていきたい。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 1-3-3

Plan 事務事業の概要												
事務事業名	教育指導事業						部局等	教育委員会				
							課	学校教育課				
						職・氏名	主幹 渡邊 直行					
						電話番号	443-1446	内線	2363			
						E-mail	kkvou@city.yachimata.chiba					
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025			
	(八街市総合計画)	施策の大綱	五の街 めざします！心の豊かさを感じる街									
		具体的施策	子どもの教育・健全育成の充実									
		実施計画	学校教育の充実				開始	2005	終了	2009		
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠	八街市教育センターの設置及び管理に関する条例第4条					
	直接の対象者(～に対して)	小中学校				最終的な受益者	児童・生徒・保護者・教職員					
	事業目的(～という状態にするために)	学校教育の充実のために教育指導の充実を図る。										
	具体的な事業内容(～を行う)	カウンセラーを雇用する。 学校評議員の活用による開かれた学校づくりを推進する。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)					
	事業の実績	1	カウンセラーの雇用	人	1	1	1	1				
		2	学校評議員の委嘱	人	55	51	51	67				
		3										
	事業の効果	1	カウンセラーによるカウンセリング	人	279	359	256	260				
			学校評議員会議の開催	回	3	3	3	3				
	事業効果に関する外部要因											
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		カウンセラーによるカウンセリングの相談回数は平成21年度は減少した。今後は学校と連携していくなどの働きかけが必要である。									
	④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)				
(最終)予算額		千円		22,418	27,043	30,155	33,265					
決算額				千円		22,133	26,188	29,434	0			
		特定・その他財源()	千円									
		一般財源	千円		22,133	26,188	29,434					
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		賃金 1890 報償費 346 旅費 191 負担金補助等 152 報償費 346 需用費 1223 役務費 38 (主な経費を抜粋)										

Check 事務事業の評価

	区分		一次評価	判定理由		二次評価		
	⑤ 事務事業の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	いじめや不登校等の問題を抱える児童生徒は今後も増加が予想される。		A	
市の関与は妥当ですか			a	公共性の観点から、市が関与することは妥当である。				
有効性		期待された効果は得られていますか	b	事業の成果の把握は難しいが、今後も事業の継続は必要であると思われる。		B		
効率性		事業の効率性を高められますか	b	カウンセラー、学校評議員ともに専門性が高く、臨時職員や民間活力の活用は難しいものと思われる。		B		
公平性		事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	児童・生徒・保護者が対象であるため、公平である。		B	
総合評価		総括及び事業実施上の課題		学校教育の充実のために教育指導の充実を図ることの重要性はより一層増している。		B	B	

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	カウンセラーによるカウンセリング及び学校評議員活用の意義と必要性について各学校へ積極的に働きかけ、有効活用を図っていく。						
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	事務事業の今後の方向性	カウンセラーによるカウンセリング及び学校評議員活用の意義と必要性について各学校へ積極的に働きかけ、有効活用を図っていく。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 1-3-4

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	英語指導助手派遣事業						部局等	教育委員会			
							課	学校教育課			
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025		
		施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街								
(八街市総合計画)	実施計画	具体的施策	子どもの教育・健全育成の充実								
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容	めざそう値(目標設定)の考え方	現状値					
②	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠	学習指導要領				
	直接の対象者(～に対して)	市内各幼稚園・保育園・小学校・中学校の全幼児・園児・児童・生徒が対象				最終的な受益者	市内各幼稚園・保育園・小学校・中学校の全幼児・園児・児童・生徒				
③ 実績・成果	事業目的(～という状態にするために)	八街市の幼児・園児・児童・生徒の国際理解教育の進展、小学校低学年における異文化理解の進展、小学校高学年における小学校外国語活動の推進、中学校における英語の基礎力の確立									
	具体的な事業内容(～を行う)	小中学校へのALTの派遣、各幼稚園、保育園への派遣により、日本人教師等とチームティーチングを行う。									
④ 事業コスト	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
	Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	事業の実績	区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)				
		1	小中学校へのALTの派遣	人	4	4	4	4			
		2	各保育園への派遣	回		3	3	3			
	事業の効果	1	英語に関する興味関心の高まり								
		2	異文化に対する理解の深まり								
		3	英語の能力の向上								
	事業効果に関する外部要因	英語の活用能力は国際化の流れの中で高まっている。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)	ATLの授業により英語の質的な向上があり、また子ども達のコミュニケーション能力が高まった。										
④ 事業コスト	区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)					
	(最終)予算額	千円		14,725	15,462	16,062	16,062				
	決算額	特定・その他財源()	千円		14,725	15,462	16,062				
		一般財源	千円		14,725	15,462	16,062				
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		13節 委託料 16,062千円									

Check 事務事業の評価							
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	小学校における外国語活動が必修化されるなど、ALTを活用した英語の授業の必要性は高まっている。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	全幼児・園児・児童・生徒に関わる教育であり、妥当である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	英語での会話力やコミュニケーション能力が高まっている。		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	民間会社への業務委託を行っている。契約金額も他市町に比べて低く設定している。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	各学校へ均等に派遣できるように計画しているので受益が偏ることはない。	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題		ALTを有効に活用し、小・中学校はもとより幼稚園、保育園にも派遣し、英語授業を行い国際理解やコミュニケーション能力の高まりを図ることができた。		A A		
Action 今後の事務事業の方向							
⑥	22年度における取組のPRと方向性	学校開放などの日にALTによる授業を積極的に公開し、外国語(英語)指導の実践を周知していく。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
		平成23年度より小学校において外国語(英語)活動が導入され、必修化される。現状の4人のALTでは、週に2回の派遣にとどまる小学校があるなど派遣が不十分である。今後も本事業を継続するとともに拡充していく必要がある。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 1-3-5

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	教育センター運営事業						部局等	教育委員会		
							課	学校教育課		
						職・氏名	主幹 渡邊 直行			
						電話番号	443-1446	内線	2363	
						E-mail	kkvou@city.yachimata.chiba			
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025	
	(八街市総合計画)	施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街							
		具体的施策	子どもの教育・健全育成の充実							
		実施計画	学校教育の充実				開始	2005	終了	2009
		「めぞう！ね(値)」	指標	指標の内容			めぞそう値(目標設定)の考え方		現状値	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	八街市教育センターの設置及び管理に関する条例第4条			
直接の対象者(～に対して)	小中学校教職員					最終的な受益者	児童・生徒・保護者			
事業目的(～という状態にするために)	印旛教育研究会第4部会と提携して教職員の研修を行い、教職員の資質向上を図る。									
具体的な事業内容(～を行う)	各種研修事業の実施を行う 研究校の指定及び教育施策の検討を行う 千葉県標準学力の分析・考察の活用を行う									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)			
	事業の実績	1	研修事業	回	29	28	28	28		
		2	教育講演会の開催	回	1	1	1	1		
		3	研究指定校	校	12	12	4	4		
	事業の効果	1	教育講演会参加者人数	人	450	450	600	450		
事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析(達成できたこと)		研究指定校の実践研究により、国語・算数・特別活動の授業改善には貢献した。一方で、千葉県標準学力検査の結果をみると、中学校では昨年度より向上が見られたが、小学校においては大きな成果は見られなかった。								
④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	608	1,521	661	650			
	決算額			千円	594	1,295	516	0		
		特定・その他財源()		千円						
	一般財源		千円	594	1,295	516				
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			報償費	341						
			需用費	175						

Check 事務事業の評価

区分	一次評価	判定理由		二次評価	
		必要性	市民からのニーズは高いですか	a	教職員の資質向上のためには今後より一層推進させていかなければならない事業である。
	市の関与は妥当ですか	a	公共性の観点から、市が関与することは妥当である。		
有効性	期待された効果は得られていますか	b	教職員の資質向上の面では有効性はみられるが、児童生徒の学力向上の面では改善していく必要がある。	B	
効率性	事業の効率性を高められますか	b	教育センター事業はすぐに成果が現れるというものではないが、事業内容の見直しを図りながら成果の検証をしていく必要があるものと思われる。	B	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし 市内の全ての小中学生とその保護者が対象であるため、公平である。	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題		本市の学校教育の課題である学力向上のためには各種研修事業の実施と研究校の指定は、今後より一層推進させていかなければならない事業であり、今後も事業内容の見直しを図りながらより一層の充実を図っていく必要があると思われる。	B	B

Action 今後の事務事業の方向

22年度における取組のPRと方向性	印旛教育研究会第4部会とより一層の提携を図って教職員の研修にあたり、教職員の資質向上を図っていく。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	児童生徒の学力が千葉県標準学力検査の結果として数値に表れるような学習指導法の改善策の作成に取り組んでいく。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 1-3-6

Plan 事務事業の概要												
事務事業名	教育支援センター管理運営事業						部局等	教育委員会				
							課	学校教育課				
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025			
		施策の大綱	五の街 めざします！心の豊かさを感じる街						職・氏名	指導主事・有賀 享		
		具体的施策	子どもの教育・健全育成の充実						電話番号	443-1446	内線	2363
		実施計画	学校教育の充実				開始	2005	終了	2009		
	(八街市総合計画)	「めざそう！ね(値)」	指標	不登校児童・生徒数	指標の内容	大きな問題となっている不登校問題の深刻さを見ます	めざそう値(目標設定)の考え方	0.5ポイントの現を指します	現状値	2.4		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠	八街市教委支援センターの設置及び管理に関する条例第2条					
	直接の対象者(〜に対して)	全児童生徒、全保護者対象				最終的な受益者	全児童生徒、全保護者対象					
	事業目的(〜という状態にするために)	学校に登校できなくなった児童生徒の居場所を作り、心を安定させ学校に復帰させる。										
	具体的な事業内容(〜を行う)	不登校になった児童生徒の居場所を確保するとともに、学習支援や教育相談活動を行う。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)					
	事業の実績	1	適応指導教室入室者 小学生	人	2	1	3	2				
			適応指導教室入室者 中学生	人	16	13	15	13				
	事業の効果	1	学校復帰 小学生	人	1	1	0	0				
			学校復帰 中学生	人	3	6	4	2				
	事業効果に関する外部要因											
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	八街市は、全国平均と比較して不登校率が高い現状がある。このため不登校の児童生徒の居場所づくりと学校復帰の支援が必要である。そのため、教育支援センターの役割が重要になっている。										
④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	4,127	5,035	4,816	4,775					
	決算額		千円	3,964	4,943	4,816						
		特定・その他財源()	千円	1,474	955	4,631						
		一般財源	千円	2,490	3,988	3,867						
	21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	1節 報酬費 4277 11節 需用費 15 8節 報償費 28 12節 役務費 16 9節 旅費 8										

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	不登校率が高い中、不登校への対策や未然防止は、最終的に将来の引きこもりを防止することにもなり、必要性は高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市内小・中学生に対し市が行う事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	学校復帰に関しては横ばいであるが、卒業後の進路で登校を実現している。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	全て嘱託職員で対応しており、コスト削減に努めている。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	不登校の原因は多様化している。教育支援センターの維持は、全児童生徒・保護者の権利を担保することになる。	B
総合評価	総括及び事業実施上の課題		当センターとしては来室者、また、復帰者ともに横ばい状態である。本市の不登校率の改善には、様々なニーズに応える機関が必要である。児童生徒の居場所として、保護者の相談機関としての存在として機能している。また、学校復帰は社会復帰にもつながり、校内適応教室との連携を図り、より積極的な支援が望まれる。		B	B
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	22年度における取組のPRと方向性	教育支援センターの存在と、教育相談(専属カウンセラーによる)を積極的に周知し、不登校生徒の減少に努めたい。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				各学校を通じて、市内の児童生徒・保護者に教育支援センターの存在と機能を積極的に周知し、不登校児童・生徒の学校復帰をサポートしていく必要がある。

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 1-3 -7

Plan 事務事業の概要

事務事業名	育て八街っ子推進事業						部局等	教育委員会		
							課	学校教育課		
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了	2025	
	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
(八街市総合計画)	具体的施策	子どもの教育・健全育成の充実								
	実施計画	学校教育の充実				開始	2005	終了	2009	
①事務事業の概要	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠	八街市立小学校及び中学校管理規則第11条			
	直接の対象者(～に対して)	幼児・児童・生徒				最終的な受益者	幼児・児童・生徒			
事業目的(～という状態にするために)	幼児・児童・生徒の夢を育むとともに、子ども達を地域社会全体で育てていこうとする意識の向上を図る。									
具体的な事業内容(～を行う)	幼児・児童・生徒の夢や希望を育む教育の在り方について、各学校・家庭・地域が連携協力し、総合的な教育実践を推進する。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								

Do 事務事業の実施

区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)
事業の実績	「幼小中高連携掲示物」作成	回		1		
	「幼小中高連携教育の取り組み」「幼小中高連携アンケート」「幼小中高連携の手引き」の作成	回	1	1	1	1
	児童生徒の交流活動等のために使用する自動車の借り上げ	件	7	5	5	
事業の効果	学校環境の整備及び職員・児童・生徒の意識向上					
	事業に関する効果的なまとめ及び次年度に向けての計画作成					
	児童生徒の効率的な移動手段の確保					
事業効果に関する外部要因						
事業効果の総合分析(達成できたこと)	「幼小中高連携教育」を予算面から支える不可欠な事業である。					

区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)
(最終)予算額		千円	1,360	1,145	1,045	19,268
決算額		千円	1,273	1,011	891	0
	特定・その他財源()	千円				
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			1,273	1,011	891	
		消耗品費	660			
		印刷製本費	99			
		自動車借上料	132			

Check 事務事業の評価

	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	⑤ 事務事業 の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	落ち着いた幼児児童生徒の姿を目指し、「ヒューマン・フィールド八街」の明日をつくる人材を育てていくこの事業は、人づくりを大切にしている本市においては重要な事業であり、市民のニーズも高いものがあると考えられる。	A
市の関与は妥当ですか			a	本市で行っている幼小中高連携教育を推進していくために不可欠な事業であり、今後も継続していく必要がある。		
有効性		期待された効果は得られていますか	a	効果が即座に現れるといったものでないので成果の把握が難しいが、今後も継続していくことで幼児・児童・生徒の健全な育成につながると考える。	A	
効率性		事業の効率性を高められますか	a	印刷物の製本においては作成部数を最小限に削減している。また、自動車借上げ料についても市有バスを活用するなど工夫している。	A	
公平性		事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし 市内全園・全学校の幼児・児童・生徒を対象にしているため公平である。	A	
総合評価		総括及び事業実施上の課題		本市で行っている幼小中高連携教育を推進していくために不可欠な事業であり、今後も継続していく必要がある。	A	A

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	連携教育が始まった時の原点に立ち返り、落ち着いた子どもたちの姿を目指して、幼児・児童・生徒の夢を育むとともに、子ども達を地域社会全体で育てていこうとする意識の向上を図る。また、平成22年度は各小学校に学力向上推進員を配置し、学力向上を図っていく。						
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
		調査研究してきたものが、現場の教育に生かせるように事務内容を検討していく。学力向上推進員を効果的に活用し、学力向上に努めていく。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 1-3-8

Plan 事務事業の概要												
事務事業名	幼小中高連携推進事業						部局等	教育委員会				
							課	学校教育課				
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025			
		施策の大綱	五の街 めざします！心の豊かさを感じる街						職・氏名	主幹 渡邊 直行		
(八街市総合計画)	実施計画	具体的施策	子どもの教育・健全育成の充実						電話番号	443-1446	内線	2363
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		E-mail			kkvou@city.yachimata.chiba
②	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠	八街市立小学校及び中学校管理規則 題11条					
		直接の対象者(～に対して)	小中学校教職員			最終的な受益者	児童・生徒・保護者・地域住民					
	事業目的(～という状態にするために)	小中連携のあり方について研究、実践し、小中学生の生活を安定させ、健全育成をめざす。										
	具体的な事業内容(～を行う)	1 学力向上のための授業改善 2 継続的な連携項目の徹底指導 3 「学校・家庭・地域との連携」を強化し、家庭や地域の協力を高める。										
	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③実績・成果	事業の実績	区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)					
		中学校区の小中連携プランの策定と実施	回	3	3	3	3					
		連携アンケートの実施と考察	回	1	1	1	1					
	事業の効果	学力向上プロジェクト推進会議の開催	回			3	3					
		冊子「幼小中高連携の取り組み」のまとめ	回	1	1	1	1					
		冊子「幼小中高連携アンケート追調査」考察	回	1	1	1	1					
		事業効果に関する外部要因										
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	生活連携については各中学校区でよく協議し、具体的な成果が見られてきている。一方、学習連携については家庭学習の習慣化などへの各校の取り組みが始まったところである。										
④事業コスト	区分	単位		19年度	20年度	21年度	22年度(目標)					
	(最終)予算額	千円		197	153	185	154					
	決算額		千円		189	153	99	0				
		特定・その他財源()	千円									
	一般財源	千円		189	153	99						
	21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	印刷製本費 99										

Check 事務事業の評価

区分	一次評価	判定理由		二次評価	
		必要性	市民からのニーズは高いですか	a	保護者のニーズが多様化する中、幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校が連携して園児・児童・生徒の教育にかかわっていくことは、今後、益々求められていく問題であり、必要な事業である。
	市の関与は妥当ですか	a	公共性の観点から、市が関与することは妥当である。		
有効性	期待された効果は得られていますか	b	成果を向上させるため、年に3回の会議において見直しを図っている。	B	
効率性	事業の効率性を高められますか	b	連携教育はすぐに成果が現れるものではないが、事業内容の見直しを図りながら効率性の向上に取り組んでいく必要がある。	B	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし 市内の全ての小中学生とその保護者、地域住民が対象であるため、公平である。	B	
総合評価	総括及び事業実施上の課題		本市の学校教育の課題である基本的な生活習慣の確立と学力向上のためには連携教育はより一層推進させていかなければならない事業であり、今後も事業内容の見直しを図りながらより一層の充実を図っていく必要がある。	B	B

Action 今後の事務事業の方向

22年度における取組のPRと方向性	22年度は「原点確認の年、再構築の年」と位置づけ、「当たり前が当たり前ができる学校づくり」に取り組んでいく。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	「生活連携」と「学習連携」を二本柱に、園児、児童・生徒の生活の安定と学力向上のために教育委員会としても積極的に関わっていく。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 1-3 -9

Plan 事務事業の概要

事務事業名	小・中学校ゲストティーチャー活用事業						部局等	教育委員会		
							課	学校教育課		
当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画)	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度		終了		
	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
	具体的施策	子どもの教育・健全育成の充実								
	実施計画	学校教育の充実						開始		終了
① 事務事業の概要	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方		現状値	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠		
直接の対象者(～に対して)	小・中学校						最終的な受益者	小・中学校児童、生徒		
事業目的(～という状態にするために)	ゲストティーチャーを学習に取り入れ児童の興味関心を高め、専門的な知識・技能を伝達するため。									
具体的な事業内容(～を行う)	ゲストティーチャーを小学校の学習に取り入れる。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								

Do 事務事業の実施

		区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)
③ 実績・成果	事業の実績	ゲストティーチャー活用事業 小学校	回	127	112	135	135
		中学校	回	24	24	60	60
	事業の効果	児童・生徒の興味・関心の向上					
		専門的な知識・技能の伝達					
	事業効果に関する外部要因	社会的に体験的活動の充実が求められているとともに地域の教育力向上が求められている。					
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	学校教育の中で、幅広い経験や優れた知識・技能を持った社会人が直接児童に接し、授業をサポートすることにより、児童の興味・関心が高まり、社会性や勤労観・職業観を育成することができた。					
④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)
	(最終)予算額		千円	810	735	708	614
	決算額	特定・その他財源()	千円	514	498	513	0
		一般財源	千円	514	498	513	
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		謝礼 小学校	435 千円				
		謝礼 中学校	78 千円				

Check 事務事業の評価

	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	⑤ 事務事業 の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校教育が地域との連携を行う上で、地域人材を積極的に授業に取り入れていくことは重要なことと考える。教師とともに学校教育に参画することにより地域の教育力も向上すると考える。	A
市の関与は妥当ですか			a	総合的な学習など児童の体験的活動は市内すべての小学校に求められており市の関与は妥当である。		
有効性		期待された効果は得られていますか	a	総合的な学習など児童の体験的活動において専門的な知識・技能を取り入れることにより児童が意欲的に学習に取り組むと考える。	A	
効率性		事業の効率性を高められますか	a	市内各小学校が学校の教育活動を工夫改善し、ゲストティーチャーを有効活用するため、招聘する回数としては適切であると考える。	A	
公平性		事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし 市内各学校において取り組む事業であり公平性が保たれると考える。	A	
総合評価		総括及び事業実施上の課題		ゲストティーチャーを招聘し、専門的な知識・技能を学習に取り入れることにより児童の興味・関心が高まるとともにキャリア教育など今日的な教育課題にも対応することができる。	A	A

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	新学習指導要領への移行期でもありゲストティーチャーを活用した新たな各校の取り組みが必要である。						
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
		ゲストティーチャーの活用方法や学習内容などさらに各校の工夫改善した取り組みが求められる。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 1-3-10

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	小・中学校教育振興事業(児童・生徒・教師用図書)						部局等	教育委員会		
							課	学校教育課		
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025	所管課等 職・氏名 副主幹 太田文子 電話番号 内線 2366 E-mail gakkyo@city.yachimata.lg.jp
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
		具体的施策	子どもの教育・健全育成の充実							
	(八街市総合計画)実施計画	学校教育の充実				開始	2005	終了	2009	
	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容		めざそう値(目標設定)の考え方			現状値		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠				
直接の対象者(～に対して)	市立小中学校教師・児童・生徒					最終的な受益者	児童・生徒			
事業目的(～という状態にするために)	・読書環境を整備し、読書活動に関する理解と関心の普及 ・読解力の育成									
具体的な事業内容(～を行う)	小学校及び中学校に対し、教師用及び児童、生徒用図書を購入する。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)			
	事業の実績	1	教師用、児童用図書購入費 小学校	千円	5,501	5,400	5,217	5,251		
			教師用、生徒用図書購入費 中学校	千円	3585	3389	3357	3364		
	事業の効果	1	教師用、児童用図書購入 小学校	校	9	9	9	9		
			教師用、生徒用図書購入 中学校	校	4	4	4	4		
	事業効果に関する外部要因		平成21年度より学校図書館司書を配置した。							
事業効果の総合分析(達成できたこと)		各学校が必要としている図書を購入し、整備した。								
④事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	9,152	8,964	8,697	8,615			
	決算額			千円	9,086	8,789	8,574			
		特定・その他財源()	千円							
	一般財源	千円		9,086	8,789	8,574				
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		備品購入費 小学校		5,217 千円						
		備品購入費 中学校		3,357 千円						

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	「国民読書年」や「読書県ちば推進」、新学習指導要領の読解力の育成重視など関心は高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	学校教育法により、設置者が経費負担という観点から妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	限られた予算配分の中で、各学校から選定された図書を整備した。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	学校図書館司書や担当教員が図書を選定し、読書環境を整備した。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全小中学校に対し、整備を実施しており公平である。	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題		限られた予算配分の中で、各学校担当者が適切な図書選定を実施し、図書を購入できた。		A A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	22年度における取組のPRと方向性	学校図書館司書等、学校と連携を取り、学校図書を整備する。				
	事務事業の今後の方向性	取組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	最も身近な読書環境である学校図書館を充実することが読解力の育成、学力の向上につながるが、図書購入費の確保は難しい現状である。限りある予算の適切な執行や市立図書館、地域との連携を図る必要がある。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 1-3-11

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	小・中学校教材備品等購入費							部局等	教育委員会	
								課	学校教育課	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画)	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了	2025
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
		具体的施策	学校教育の充実							
	実施計画	学校設備・備品の充実				開始	2005	終了	2009	
	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方		現状値	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠			
直接の対象者(～に対して)	市立小中学校						最終的な受益者	児童・生徒・教職員		
事業目的(～という状態にするために)	小学校及び中学校に対し、教科指導上必要な備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。									
具体的な事業内容(～を行う)	市立小中学校全校に対し、教材備品を購入し、整備する。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)			
	事業の実績	1	教材備品等購入費 小学校	千円	4,141	4,450	4,313	4,200		
			教材備品等購入費 中学校	千円	3468	3700	3587	3500		
	事業の効果	1	教材備品等購入 小学校	校	9	9	9	9		
			教材備品等購入 中学校	校	4	4	4	4		
	事業効果に関する外部要因	新学習指導要領の全面実施に先がけ、一部先行実施されている部分に対応する教材の確保が必要である。								
事業効果の総合分析(達成できたこと)	各校が教科指導上必要とする教材備品を購入、整備した。									
④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)			
	(最終)予算額		千円		7,609	8,150	7,906	7,700		
	決算額		千円		7,609	8,150	7,900	0		
		特定・その他財源()	千円							
		一般財源	千円		7,609	8,150	7,900			
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			備品購入費 小学校	4,313 千円						
			備品購入費 中学校	3,587 千円						

Check 事務事業の評価

	区分		一次評価	判定理由		二次評価		
	⑤ 事務事業 の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	新学習指導要領による指導内容の充実、学力向上等ニーズや関心は高い。		A	
市の関与は妥当ですか			a	学校教育法により、設置者が経費負担という観点から妥当である。				
有効性		期待された効果は得られていますか	a	限られた予算配分の中で、各学校から希望された備品を整備した。		A		
効率性		事業の効率性を高められますか	a	備品台帳の活用により、現有備品の確認を行い、教科指導に必要な備品を整備している。		A		
公平性		事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全小中学校に対し、整備を実施しており公平である。		A	
総合評価		総括及び事業実施上の課題		教科指導に必要な備品を各学校の現状にあわせて整備することができた。			A	A

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	現有備品の確認や点検を行い、教科指導に必要な備品を選定し、整備を行う。その際、新学習指導要領も見据えた整備とする。								
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向								
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
		平成23年度小学校、24年度中学校の新学習指導要領の全面実施に伴い、新たに必要となる教材備品や不足している教材等を点検し、教材備品を適正に選定し、整備する。								

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 1-3-12

Plan 事務事業の概要

事務事業名	小・中学校理科教育振興備品購入事業						部局等	教育委員会	
							課	学校教育課	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						
	具体的施策								
	(八街市総合計画)	実施計画				開始	2005	終了	2009
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容	めざそう値(目標設定)の考え方			現状値	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠		
直接の対象者(～に対して)	市立小中学校・児童・生徒						最終的な受益者	児童・生徒	
事業目的(～という状態にするために)	小学校及び中学校新学習指導要領移行に伴う理科教育設備を含めた理科備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。								
具体的な事業内容(～を行う)	市立小中学校全校に対し、理科備品を購入し、整備する。								
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目							

D. 事務事業の実施

区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
		事業の実績	1 理科備品購入費 小学校	千円	1,697	1,578
	2 理科備品購入費 中学校	千円	1,424	1,296	7,276	1,400
事業の効果	1 理科備品現有率 小学校	%	37.8	38.5	50	50.1
	2 理科備品現有率 中学校	%	33.2	33.9	37.3	37.5
事業効果に関する外部要因	従来の理科教育設備整備費等補助金に加えて、「地域活性化・経済危機対策」関連事業としての補正予算分の補助金も活用したことにより、大きな事業効果が得られた。					
事業効果の総合分析(達成できたこと)	理科教育設備整備費等補助金を活用することにより、新学習指導要領の主旨に沿った理科の授業に必要な教材備品の整備ができた。					
区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
(最終)予算額	千円	3,122	2,874	21,840	3,100	
決算額	千円	3,121	2,874	21,840		
	特定・その他財源()	千円	1,202	1,269	10,754	
	一般財源	千円	1,919	1,605	11,086	
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		備品購入費 小学校	14,564 千円			
		備品購入費 中学校	7,276 千円			

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	新学習指導要領による指導内容の充実、理科教育の重要性、学力向上等、ニーズや関心は高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	学校教育法により、設置者が経費負担という観点から妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	補助金を活用することにより、理科教材備品を適正に整備できた。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	全小中学校の理科備品の現有率の平均化を図るとともに、現有率の引き上げを図る。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全小中学校に対し、整備を実施しており、公平である。	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題		当初予算に加え「地域活性化・経済危機対策交付金」を有効に活用し、理科教材備品の大幅な増を図ることができた。		A A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	22年度における取組のPRと方向性	平成23年度小学校、24年度中学校の新学習指導要領実施にむけて、理科教育振興費補助金を活用し、理科備品を更に整備する。理科備品台帳を整備し、現有備品についても見直しを行い、有効活用を図る。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		補助金等を有効活用し、計画的な理科備品の整備を行う。 学力向上や理科教育の関心の高まりにより、適正な予算配当や教材備品の選定が必要である。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 1-3 -13

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	小学校児童・中学校生徒援助奨励事業							部局等	教育委員会	
								課	学校教育課	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了	2025
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
		具体的施策								
	(八街市総合計画)	実施計画	学校教育の充実				開始	2005	終了	2009
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	学校教育法第19条		
	直接の対象者(〜に対して)	援助奨励対象保護者					最終的な受益者	児童・生徒・保護者		
	事業目的(〜という状態にするために)	保護者の経済的理由により就学が困難と認められる児童・生徒に、必要な教育を受けさせるため。								
	具体的な事業内容(〜を行う)	学用品・通学用品・校外活動費・給食費等の援助を行う。								
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)			
	事業の実績	小学校準要保護児童認定数	人	242	262	286				
		中学校準要保護生徒認定数	人	152	175	181				
	事業の効果	小学校準要保護児童認定率	%	4.5	4.7	5.4				
		中学校準要保護生徒認定率	%	4.9	5.5	6.3				
		事業効果に関する外部要因	保護者のリストラや離婚件数の増加および不安定な雇用形態。							
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	児童・生徒の経済的理由による教育の格差をなくし、円滑な学校運営にも寄与している。								
④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	29,478	32,393	36,520	33,632			
	決算額		千円	29,039	31,769	34,561	0			
		特定・その他財源()	千円	164	222	164				
		一般財源	千円	28,875	31,547	34,397				
	21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		扶助費 小学校	17,901						
			扶助費 中学校	16,660						

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	昨今の厳しい社会情勢のなか、リストラや離婚等により安定した収入が得られない世帯が増加しており、その影響は少なからず子供にも及ぶため必要である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	法律に基づいているため妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	教育の機会均等の見地から効果は得られている。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	扶助費の性質上、コスト低減の余地はない。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	c	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	全児童・生徒の保護者が対象ではあるが、認定の基準に公平性について、検討の必要性があると思われる。	C
総合評価	総括及び事業実施上の課題		学校教育法及び教育の機会均等の見地から事業は必要不可欠である。ただし、事業内容(認定の基準)等については、若干の見直しが必要と思われる。		B	B
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	22年度における取組のPRと方向性	保護者の経済的理由による教育の格差を防止するため、学校と連携し制度のPRとともに、児童・生徒の保護に努める。また、事業の公平性を確保するため、内容の見直しを含めた要綱の制定に向けて取り組んでいく。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		教育の機会均等に資するため、継続的に実施する必要があるが、公平性を重視した制度改革を行うことが必要である。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 2-1-1

Plan 事務事業の概要												
事務事業名	小学校施設維持管理事業						所管課等	教育局等		教育委員会		
								課	庶務課			
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025		職・氏名	副主幹 勝又寿雄	
	施策の大綱	五の街 めざましです！心の豊かさを感じる街						電話番号	443-1442	内線	2355	
(八街市総合計画)	具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実――学校教育の充実								E-mail	shomu@city.yachimata.lg.jp	
	実施計画	小中学校施設管理事業			開始	2005		終了	2009			
	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容		めざそう値(目標設定)の考え方			現状値				
①事務事業の概要	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠					
	直接の対象者(～に対して)	小学校					最終的な受益者	小学生・教職員				
	事業目的(～という状態にするために)	施設設備等の維持管理を適正に行い、良好な学校生活を過ごせるようにするため。										
	具体的な事業内容(～を行う)	・学校施設の修繕、樹木の伐採・除草、簡易専用水道管理状況検査、浄化槽法定検査等の実施 ・校舎警備、浄化槽維持管理、貯水槽維持管理、電気工作物保守点検、給食用エレベーター・リフトの保守点検、プール循環浄化濾過装置保守点検、樹木害虫駆除業務等の業務委託、消火器・AEDの賃借 ・学校管理用備品の購入										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)					
	事業の実績	1	学校施設の保守管理業務委託契約数	件	20	23	26	24				
		2	学校施設の修繕契約数	件	71	56	71	60				
		3	各種検査等	件	2	2	2	2				
		4	学校管理用備品(消耗品を含む)購入契約数	件	14	13	12	12				
	事業の効果	1	修繕等による施設設備の適切な機能の維持確保	千円	7,282	6,588	6,758	6,300				
		2	業務委託、検査、調整等による適正な維持管理の実施	千円	16,489	17,241	16,931	17,516				
		3	管理用備品(消耗品を含む)の購入	千円	5,415	4,405	5,020	3,609				
	事業効果に関する外部要因	施設設備の老朽化に伴う修繕等の増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。										
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから修繕、整備に務めている。 物品についても耐用年数・老朽化度を考慮し、必要なものを購入している。 平成21年度から小学校9校にAEDを配置し、心停止等緊急時の対応が可能となった。										
④事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	29,220	28,832	28,871	27,425					
	決算額			千円	29,186	28,234	28,801	0				
		特定・その他財源()	千円									
	一般財源	千円	29,186	28,234	28,709							
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費(消耗品、修繕)	7,229	使用料及び賃借料	796							
		役務費(手数料)	1,434	備品購入費	4,642							
		委託料	14,701									

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の経年劣化により、学校からの要望は多く、学校施設の適正な維持管理のため必要がある。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が実施する事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な修繕、定期的な部品の交換・補修などにおいて、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施し、おおむね要望に対応することができた。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	同種の業務などについては、幼・小・中学校で一括して発注し経費を削減を図るとともに、軽易な修繕については小規模工事登録業者へ発注し、地元業者育成にも配慮しつつ効率的な執行を図るようにしている。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題		施設の経年による修繕等必要な箇所は増えているが、緊急性を考慮しおおむね適正な維持管理が実施されている。		A	A
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	22年度における取組のPRと方向性	警備業務において、平成22年度から8年間の長期契約とすることで経費の削減を図り、あわせて夜間巡回警備も含めて委託をし、防犯体制の強化を図ることとした。 技術の進歩にあわせ、ランニングコストの費用を削減できる新製品の導入などを行い、経費の節減を図る。 (例: 照明器具をLEDに替えて交換する。又は改修工事の際、全面的な更新をするなど。)				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		児童の安心安全な学校生活を確保するため、学校施設の定期的な保守点検、修繕、機器の交換等は必要不可欠であり、限られた予算の中で、効率的で先進的な維持管理を図ってまいります。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 2-1 -2

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	小学校施設整備事業						部局等	教育委員会			
							課	庶務課			
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025		
		施策の大綱	五の街 めざましです！心の豊かさを感じる街						職・氏名	副主幹 勝又寿雄	
(八街市総合計画)	具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実――学校教育の充実									
		実施計画	小中学校施設管理事業			開始	2005	終了	2009		
実施方法	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容		めざそう値(目標設定)の考え方			現状値			
		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()			実施根拠						
直接の対象者(～に対して)	小学校施設整備事業						最終的な受益者	小学生・教職員			
事業目的(～という状態にするために)	施設設備等の改修工事を行い、良好な学校生活を過ごせるようにするため。										
具体的な事業内容(～を行う)	・学校施設の改修、設備の交換等										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)				
	事業の実績	1	工事請負契約数	件	25	18	15	15			
		2	業務委託契約数	件			3				
	事業の効果	施設設備の改修工事の実施		千円	28,315	27,312	11,500	16,000			
		耐震診断業務		千円			14,265				
	事業効果に関する外部要因		施設設備の老朽化に伴い実施しなければならない改修工事箇所が増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。								
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから改修、整備を行い、良好な学習環境の整備に務めている。平成21年度は、校舎、屋内運動場の耐震性を確認するため、小学校7校(10棟)の耐震診断を実施した。この結果を受けて、実住小学校小学校体育館の補強工事を実施するとともに、危険度の高い順に耐震補強工事を実施する計画を立てていく。								
④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	28,315	27,431	43,048	16,000				
	決算額			千円	28,315	27,312	25,765	0			
		特定・その他財源()	千円								
	一般財源	千円	28,315		25,765						
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		工事請負費	11,500								
		委託料	14,265								

Check 事務事業の評価

	区分		一次評価	判定理由	二次評価		
	⑤ 事務事業 の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の老朽化に伴い、学校からの改修要望等は多くなっている。学校施設の適正な維持管理のため必要性である。	A	
市の関与は妥当ですか			a	市立学校であり、市が行う事業である。			
有効性		期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な改修工事等において、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施しており、おおむね要望に対応することができた。	A		
効率性		事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に務めており、改善の余地はあまり無い。	B		
公平性		事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A	
総合評価		総括及び事業実施上の課題		学校施設の適正な維持管理を恒久的に続けていかなければならない。施設の老朽化により修繕要望は増えているが、緊急性に配慮しつつおおむね適切な維持管理がされている。	A	A	

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	平成21年度からの工事請負費の繰越明許分7,000千円及び当初予算9,000千円、計16,000千円で改修工事等を実施予定。昨年度実施した耐震診断の結果、実住小学校屋内運動場の耐震性能が劣ることから、21年度補正予算で緊急に予算計上を行い、「実住小学校屋内運動場耐震補強事業」において平成22年度に補強工事及び大規模改造工事を実施する予定。						
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
		施設設備の老朽化が進んでいることから、計画的な改修を実施してまいりたい。耐震診断の結果、補強が必要な学校があることから、継続的に耐震補強事業に取り組む必要があり、新增築事業と併せて、大規模な改修工事を含めて実施し、学習環境の整備を図る必要がある。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 2-1-3

Plan 事務事業の概要

事務事業名	小学校ICT環境整備事業						部局等	教育委員会				
							課	庶務課				
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025			
	(八街市総合計画)	施策の大綱	五の街 めざましです！心の豊かさを感じる街						職・氏名	副主幹 勝又寿雄		
		具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実――学校教育の充実						電話番号	443-1442	内線	2355
		実施計画	小中学校施設管理事業			開始	2005	終了	2009			
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠				
	直接の対象者(～に対して)	小学校ICT環境整備事業						最終的な受益者	小学生・教職員			
	事業目的(～という状態にするために)	①2011年の全面的な地上デジタル化に向けて、地デジ対応アンテナ工事及び、デジタルテレビの購入を行う。 ②教師1名に1台のパーソナルコンピュータを購入し、テレビモニターとの併用により、新しい授業の展開を図り、あわせて教員の校務負担の軽減を図る。										
	具体的な事業内容(～を行う)	・地デジ対応アンテナ工事 ・デジタルテレビの購入(普通学級、特別支援学級の全ての教室)・・・163台 ・パーソナルコンピュータ購入(教師1名につき1台ずつ)・・・233台										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										

Do 事務事業の実施

区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
③ 実績・成果	事業の実績	1 業務委託契約数	件			2	
		2 工事請負契約数	件			1	
		3 備品購入契約数	件			2	
事業の効果	1 調査、設計業務	千円			444		
	2 施設設備(アンテナ等)の改修工事の実施	千円			7,875		
	3 備品の購入(テレビ、パソコン、LAN)	千円			98,387		
事業効果に関する外部要因	2011年7月の地上デジタル化に伴い、地上デジタル対応テレビの整備が必要となった。						
事業効果の総合分析(達成できたこと)	学校ICT環境整備事業の国庫補助金を活用して、各小学校の普通学級、特別支援学級にデジタルテレビ(50インチ)を購入(163台)した。また、教師1人に1台の校務用パーソナルコンピュータを購入(小学校233台)し、多角的な活用が図れるようにした。						
④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)
	(最終)予算額		千円			109,176	
	決算額	特定・その他財源()	千円		0	0	106,706
		一般財源	千円				1,124
	21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		委託料	444			
		工事請負費	7,875				
		備品購入費	98,387				

Check 事務事業の評価

	区分		一次評価	判定理由	二次評価		
	⑤ 事務事業 の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	地上デジタル化に対応したテレビの購入である。またパーソナルコンピュータを活用した教室での学習など、学校のニーズは高い。これまで教師個人のパソコンを使用していたことから、今後セキュリティー問題の改善にも繋がる。	A	
市の関与は妥当ですか			a	市で実施する事業である。			
有効性		期待された効果は得られていますか	a	テレビのモニターが大画面になり、またパソコンを接続したテレビの利用ができるので、学習効果は増大した。	A		
効率性		事業の効率性を高められますか	a	購入にあたっては、それぞれ一括購入し、効率性と経費削減を図った。	A		
公平性		事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	全ての学校に同条件で整備している。	A	
総合評価		総括及び事業実施上の課題		ICT関連については、その利用の急速な進展に伴い、新たな局面を迎えている。次世代を担う子ども達のため、技術の進歩に応じた施設設備の充実、情報化の促進を図ることができた。	A	A	

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	ICT関連機器を活用した、新たな授業展開に取り組んでいく。また、セキュリティー対策など適正な維持管理を図っていく。						
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
		設備の配備は完了したので、今後はセキュリティーを含めた維持管理や、ソフト機器の充実を図っていく必要がある。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 2-3-1

Plan 事務事業の概要												
事務事業名	交進小学校校舎改築事業						部局等	教育委員会				
							課	庶務課				
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画)	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了	2025		
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街									
		具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実――学校教育の充実									
		実施計画			開始	2005	終了	2009				
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容		めざそう値(目標設定)の考え方			現状値				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠	義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律					
	直接の対象者(～に対して)	小学校				最終的な受益者	小学生・教職員					
	事業目的(～という状態にするために)	老朽化したプレハブ仮設校舎の改築事業を行い、良好な学校生活を過ごせるようにするため。										
具体的な事業内容(～を行う)	・プレハブ校舎の解体を行う。1棟(2教室分)(165㎡) ・新校舎を建設する。(4教室、便所)・・・464㎡											
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)					
	事業の実績	1	業務委託契約数	件			6	/				
		2	工事請負契約数	件			5					
		3	備品購入契約数	件			1					
		4										
	事業の効果	1	調査、設計業務	千円			6,333	/				
		2	新校舎の建設工事(464㎡)、プレハブ校舎解体工事、その他工事	千円			55,379					
		3	備品の購入(スクールロッカー、教師戸棚、等)	千円			5,238					
		4										
	事業効果に関する外部要因	プレハブ校舎の老朽化(危険建物)のため、校舎を改築する。										
事業効果の総合分析(達成できたこと)	耐力度調査の結果、プレハブ校舎2棟のうち1棟が危険校舎であったため、これを解体し、2棟分の新校舎の建設(鉄骨造延べ床面生464㎡)を実施した。学習環境に向上に資することができた。											
④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)					
	(最終)予算額		千円		0	0	80,577	/				
	決算額	特定・その他財源()	千円		0	0	66,991					
		一般財源	千円				13,565					
	21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		役員費(手数料)	41	備品購入費		5,238					
		委託料	6,333									
		工事請負費	55,379									

Check 事務事業の評価

	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	⑤ 事務事業の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	プレハブ仮設校舎は一時的な使用目的で建設されたが、老朽化が著しく危険校舎として改築の必要が生じ、子供の安全を確保する上から、早急を実施すべきものである。	A
市の関与は妥当ですか			a	市が実施する事業である。		
有効性		期待された効果は得られていますか	a	安全な新校舎が完成し、危険なプレハブ校舎が解体されたことにより、児童の安全性が担保された。	A	
効率性		事業の効率性を高められますか	a	21年度単年度での設計から工事完了であり、期間的に厳しい状況であったが効率的に実施できた。	A	
公平性		事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし 公立学校の施設整備であり、公平性に問題はない。	A	
総合評価		総括及び事業実施上の課題		解体したプレハブ校舎は北側の別棟であったが、新校舎は既存校舎と同じ並びで、2学年分の児童が入り、学校全体としてもよい配置とすることができた。	A	A

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	普通教室4教室、各階に男女便所を設置し、あわせて各教室にエアコンを整備した新校舎が完成し、所期の目的を達成できた。						
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
		残ったプレハブ校舎は地域連携のための会議室等として活用することとなっているが、老朽化も進んでいることから今後の使用にあたって検討が必要。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 2-3 -2

Plan 事務事業の概要												
事務事業名	笹引小学校校舎改築事業						部局等	教育委員会				
							課	庶務課				
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025			
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街						職・氏名	副主幹 勝又寿雄		
(八街市総合計画)	実施計画	具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実――学校教育の充実						電話番号	443-1442	内線	2355
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容	めざそう値(目標設定)の考え方			E-mail	shomu@city.yachimata.lg.jp			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律				
	直接の対象者(～に対して)	小学校						最終的な受益者	小学生・教職員			
事業目的(～という状態にするために)	老朽化したプレハブ校舎の改築事業を行い、良好な学校生活を過ごせるようにするため。											
具体的な事業内容(～を行う)	・プレハブ校舎の解体を行う。3棟(4教室分、便所)(370㎡) ・新校舎を建設する。(4教室、便所、倉庫、昇降口)・・・593㎡											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)					
	事業の実績	1	申請等の数	件				3				
		2	業務委託契約数	件			3	1				
		3	工事請負契約数	件				5				
		4										
	事業の効果	1	建築確認申請、完了検査	千円				229				
		2	調査、設計業務	千円			7,197	2,709				
		3	新校舎の建設工事(593㎡)、プレハブ校舎解体工事、その他工事	千円				115,790				
		4										
	事業効果に関する外部要因	プレハブ校舎の老朽化(危険建物)のため、校舎を改築する。										
事業効果の総合分析(達成できたこと)	耐力度調査の結果、プレハブ校舎2棟が危険校舎となったため、これを解体し、新校舎の建設(鉄骨造延べ床面生593㎡)を実施する。国の緊急経済対策の交付金を活用し、有利な補助金を受けて緊急に実施することとした。21年度では実施設計を行った。											
④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	0	0	125,925	118,727					
	決算額	特定・その他財源()	千円	0	0	7,197						
		一般財源	千円			7,197						
	21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		委託料 7,197									

Check 事務事業の評価

	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	⑤ 事務事業の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	プレハブ仮設校舎は一時的な使用目的で建設されたが、老朽化が著しく危険校舎として改築の必要が生じ、子供の安全を確保する上から、早急を実施すべきものである。	A
市の関与は妥当ですか			a	市が実施する事業である。		
有効性		期待された効果は得られていますか	a	平成21年度事業として9月補正で予算計上したため、平成21年度は調査・設計等を行った。	A	
効率性		事業の効率性を高められますか	a	耐力度調査、実施設計と短期間の中で効率的に事業を実施することができた。	A	
公平性		事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし 公立学校の施設整備であり、公平性に問題はない。	A	
総合評価		総括及び事業実施上の課題		平成21年度事業として9月補正で予算計上したため、事業は平成22年度へ全額繰越し実施することとなっている。国の制度を有効に活用し、市の負担軽減に配慮した事業である。	A	A

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	普通教室4教室、各階に男女便所を設置し、教材等の倉庫や昇降口も設置した新校舎の建設を実施する。						
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
		<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	事務事業の今後の方向性	平成21年度からの繰越事業で、平成22年度完了見込み。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 2-3 -3

Plan 事務事業の概要

事務事業名	八街東小学校校舎改築事業						部局等	教育委員会			
							課	庶務課			
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025		
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						電話番号	443-1442	内線
	具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実――学校教育の充実						E-mail	shomu@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画)	実施計画				開始	2005	終了	2009		
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律			
直接の対象者(～に対して)	小学校						最終的な受益者	小学生・教職員			
事業目的(～という状態にするために)	老朽化したプレハブ校舎の改築事業を行い、良好な学校生活を過ごせるようにするため。										
具体的な事業内容(～を行う)	・プレハブ校舎の解体を行う。4棟(6教室分、便所)(539㎡) ・新校舎を建設する。(6教室、便所、倉庫、昇降口)・・・847㎡										

②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								

D. 事務事業の実施

区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
③ 実績・成果	事業の実績	1 申請等の数	件			1	3
		2 業務委託契約数	件			3	1
		3 賃貸者契約数	件				1
		4 工事請負契約数	件				5
事業の効果	1 建築確認申請、完了検査	千円			120	270	
	2 調査、設計業務	千円			9,505	3,824	
	3 仮設校舎賃貸借	千円				24,182	
	4 新校舎の建設工事(847㎡)、プレハブ校舎解体工事、その他工事	千円				171,525	
事業効果に関する外部要因	プレハブ校舎の老朽化(危険建物)のため、校舎を改築する。						
事業効果の総合分析(達成できたこと)	耐力度調査の結果、プレハブ校舎3棟が危険校舎となったため、これを解体し、新校舎の建設(鉄骨造延べ床面生847㎡)を実施する。国の緊急経済対策の交付金を活用し、有利な補助金を受けて緊急に実施することとした。21年度では、調査、実施設計を行った。						

区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)
(最終)予算額		千円	0	0	215,244	205,619
④ 事業コスト	決算額	特定・その他財源()	千円	0	0	9,625
		一般財源	千円			9,625
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		役務費(手数料)	120	工事請負費	0	
		委託料	9,505			
		使用料及び賃借料	0			

Check 事務事業の評価

	区分	一次評価	判定理由		二次評価		
⑤ 事務事業の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	プレハブ仮設校舎は一時的な使用目的で建設されたが、老朽化が著しく危険校舎として改築の必要が生じ、子供の安全を確保する上から、早急を実施すべきものである。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	市が実施する事業である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	平成21年度事業として9月補正で予算計上したため、平成21年度は調査・設計等を行った。		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	耐力度調査、実施設計と短期間の中で効率的に事業を実施することができた。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	公立学校の施設整備であり、公平性に問題はない。		A
	総合評価	総括及び事業実施上の課題		平成21年度事業として9月補正で予算計上したため、事業は平成22年度へ全額繰越し実施することとなっている。国の制度を有効に活用し、市の負担軽減に配慮した事業である。		A	A

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	普通教室4教室、特別教室2教室、各階に男女便所を設置し、教材等の倉庫や昇降口も設置した新校舎を建設する。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		平成21年度からの繰越事業で、平成22年度完了見込み。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を問うたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 2-3-4

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	実住小学校屋内運動場耐震補強事業						部局等	教育委員会			
							課	庶務課			
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025		
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						職・氏名	副主任 勝又寿雄	
		具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実――学校教育の充実						電話番号	443-1442	内線
	(八街市総合計画)	実施計画				開始	2005	終了	2009		
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律				
直接の対象者(～に対して)	小学校					最終的な受益者	小学生・教職員				
事業目的(～という状態にするために)	平成21年度に実施した耐震診断の結果を受け、屋内運動場の耐震補強工事を実施し、耐震性能を確保する。										
具体的な事業内容(～を行う)	耐震性が劣る屋内運動場の補強工事を実施し、安全を担保する。併せて照明施設の改修や床の張替えなどの大規模改造を実施し、環境を整備する。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)				
	事業の実績	1	業務委託契約数	件			1	1			
		2	工事請負契約数	件				1			
		3									
		4									
	事業の効果	1	設計、監理業務	千円			6,930	7,226			
		2	屋内運動場(1,350㎡)の大規模改造工事	千円				200,000			
		3									
		4									
	事業効果に関する外部要因	耐震診断の結果、屋内運動場の耐震性能が劣る事が判明した。耐震指数が低いことから直ちに屋内運動場の耐震化を図ることとした。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)	耐力度調査の結果を受け、早急な対応を実施することとしたものである。国の緊急経済対策の交付金を活用し、有利な補助金を受けて緊急に実施することとした。21年度では、調査、実施設計を行った。										
④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)				
	(最終)予算額		千円		0	0	6,930	207,226			
	決算額			千円		0	0	0			
		特定・その他財源()	千円					0			
			一般財源	千円				0			
	21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		委託料	0							
		工事請負費	0								

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由		二次評価		
⑤ 事務事業 の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	大地震発生時の耐震性を高める必要があり、耐震補強については、児童の安全を確保する上から、早急に実施すべきものである。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	市が実施する事業である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	平成21年度事業として12月補正・3月補正で予算計上したため、平成21年度は調査・設計等を行った。		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	耐震補強設計期間が短期間であり年度内に完了しなかったことから、22年度に引き続き実施している。事業的には効率的に実施することができた。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	公立学校の施設整備であり、公平性に問題はない。		A
	総合評価	総括及び事業実施上の課題		設計業務については短期間であったため完了できず、22年度に委託期間を延長したが止むを得ないことと判断される。設計完了後、直ちに工事を実施し、早期の完成を目指す。		A	A

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	耐震補強工事の他、照明設備を全面改修し、器具はLEDなどの省エネ型製品を採用し、今後のコスト削減を図る。老朽化した床(アリーナ)も全面張替えなど、大規模改造工事を実施しリニューアルする計画である。便所については、すべて洋式化し、衛生的な設備とする。身障者用も設置する。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		平成21年度からの繰越事業であり、22年度で完了する。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 3-1-1

Plan 事務事業の概要

① 事務事業の概要	事務事業名	中学校施設維持管理事業				部局等	教育委員会			
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画)	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025	
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街				所管課等	課	庶務課	
		具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実――学校教育の充実					職・氏名	副主幹 勝又寿雄	
		実施計画	小中学校施設管理事業			開始		2005	終了	2009
	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠				
直接の対象者(～に対して)	中学校				最終的な受益者	中学生・教職員				
事業目的(～という状態にするために)	施設設備等の維持管理を適正に行い、良好な学校生活を過ごせるようにするため。									
具体的な事業内容(～を行う)	・学校施設の修繕、樹木の伐採・除草、簡易専用水道管理状況検査、浄化槽法定検査等の実施 ・校舎警備、浄化槽維持管理、貯水槽維持管理、電気工作物保守点検、給食用エレベーター・リフトの保守点検、プール循環浄化濾過装置保守点検、樹木害虫駆除業務等の業務委託、消火器・AEDの賃借 ・学校管理用備品の購入									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								

D. 事務事業の実施

区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
③ 実績・成果	事業の実績	1 学校施設の保守管理業務委託契約数	件	16	14	14	14
		2 学校施設の修繕契約数	件	57	42	38	40
		3 各種検査等	件	2	2	2	2
		4 学校管理用備品(消耗品を含む)購入契約数	件	5	5	20	10
事業の効果	1 修繕等による施設設備の適切な機能の維持確保	千円	6,001	5,713	5,291	5,200	
	2 業務委託、検査、調整等による適正な維持管理の実施	千円	7,957	8,033	8,108	9,240	
	3 管理用備品(消耗品を含む)の購入	千円	4,323	2,765	4,500	4,094	
事業効果に関する外部要因	施設設備の老朽化に伴う修繕等の増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。						
事業効果の総合分析(達成できたこと)	危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから修繕、整備に務めている。物品についても耐用年数・老朽化度を考慮し、必要なものを購入している。						
④ 事業コスト	区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
	(最終)予算額	千円	18,330	17,800	18,085	18,534	
	決算額		千円	18,281	16,511	17,896	0
		特定・その他財源()	千円				
		一般財源	千円	18,281	16,511	17,896	
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	需用費(消耗品、修繕) 6,334		使用料及び賃借料 443				
	役務費(手数料・保険料) 286		備品購入費 3,453				
	委託料 7,380						

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由	二次評価		
⑤ 事務事業の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校施設の経年劣化などにより学校からの要望は多くなっている。	A	
		市の関与は妥当ですか	a	市が行う事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な修繕、定期的な部品の交換・補修などにおいて、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施し、おおむね要望に対応することができた。	B	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	同種の業務などについては、幼・小・中学校で一括して発注し経費を削減を図るとともに、軽易な修繕については小規模工事登録業者へ発注し、地元業者育成にも配慮しつつ効率的な執行を図っている。	A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題		施設の経年による修繕等必要な箇所は増えているが、緊急性を考慮しおおむね適正な維持管理が実施されている。	A	A

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	警備業務において、平成22年度から8年間の長期契約とすることで経費の削減を図り、あわせて夜間巡回警備も含めて委託をし、防犯体制の強化を図ることとした。 技術の進歩にあわせ、ランニングコストの費用を削減できる新製品の導入などを行い、経費の節減を図る。 (例: 照明器具をLEDに替えて交換する。又は改修工事の際、全面的な更新をするなど。)						
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
		生徒の安心安全な学校生活を確保するため、学校施設の定期的な保守点検、修繕、機器の交換等は必要不可欠であり、限られた予算の中で、効率的で先進的な維持管理を図ってまいります。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 3-1-2

Plan 事務事業の概要

事務事業名	中学校施設整備事業						部局等	教育委員会			
							課	庶務課			
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025		
		施策の大綱	五の街 めざします！心の豊かさを感じる街						職・氏名	副主幹 勝又寿雄	
		具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実――学校教育の充実						電話番号	443-1442	内線
	(八街市総合計画)	実施計画	小中学校施設管理事業			開始	2005	終了	2009		
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠				
直接の対象者(～に対して)	中学校						最終的な受益者	中学生・教職員			
事業目的(～という状態にするために)	施設設備等の改修工事を行い、良好な学校生活を過ごせるようにするため。										
具体的な事業内容(～を行う)	・学校施設の改修、設備の交換等										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									

Do 事務事業の実施

区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
		1 工事請負契約数	件	3	7	11
事業の実績						
事業の効果	施設設備の改修工事の実施	千円	9,440	11,876	21,037	9,155
事業効果に関する外部要因	施設設備の老朽化に伴い実施しなければならない改修工事箇所が増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。					
事業効果の総合分析(達成できたこと)	危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから改修、整備を行い良好な学校環境の整備に務めている。平成21年度は、安全・安心な学校づくり交付金事業として、八街中学校のグラウンドの排水及び整地を実施した。					
区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
(最終)予算額	千円	9,500	11,886	25,702	9,155	
決算額	千円	9,440	11,876	21,037	0	
	特定・その他財源()	千円		12,547		
	一般財源	千円	9,440	11,876	8,490	
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	工事請負費	21,037				

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由	二次評価		
⑤ 事務事業 の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の老朽化に伴い、学校からの改修要望等は多くなっている。学校施設の適正な維持管理のため必要性である。		
		市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が行う事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な改修工事等において、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施しており、おおむね要望に対応することができた。		
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に務めており、改善の余地はあまり無い。		
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題		学校施設の適正な維持管理を恒久的に続けていかなければならない。施設の老朽化により修繕要望は増えているが、緊急性に配慮しつつおおむね適切な維持管理がされている。		A

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	平成21年度からの工事請負費の繰越明許分4,655千円及び当初予算4,500千円、計9,155千円で改修工事等を実施予定。このうち、きめこまやかな交付金事業として、八街南中学校濾過装置(沈砂槽)を設置する予定となっている。このほか各中学校の施設整備を実施する計画である。						
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
		施設設備の経年劣化進んでいることから、引き続き計画的な改修を実施してまいりたい。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 3-1-3

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	中学校ICT環境整備事業						部局等	教育委員会			
							課	庶務課			
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025		
		施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街								
		具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実――学校教育の充実								
	(八街市総合計画)	実施計画	小中学校施設管理事業				開始	2005	終了	2009	
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方		現状値	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠					
直接の対象者(～に対して)	中学校					最終的な受益者	中学生・教職員				
事業目的(～という状態にするために)	①2011年の全面的な地上デジタル化に向けて、地デジ対応アンテナ工事及び、デジタルテレビの購入を行う。 ②教師1名に1台のパーソナルコンピュータを購入し、テレビモニターとの併用により、新しい授業の展開を図り、あわせて教員の校務負担の軽減を図る。										
具体的な事業内容(～を行う)	・地デジ対応アンテナ工事 ・デジタルテレビの購入(普通学級、特別支援学級の全ての教室)・・・86台 ・パーソナルコンピュータ購入(教師1名につき1台ずつ)・・・155台										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)				
	事業の実績	1	業務委託契約数	件			2	/			
		2	工事請負契約数	件			1				
		3	備品購入契約数	件			3				
	事業の効果	1	調査、設計業務	千円			204				
		2	施設設備(アンテナ等)の改修工事の実施	千円			1,313				
		3	備品の購入(テレビ、パソコン、LAN)	千円			64,384				
事業効果に関する外部要因	2011年7月の地上デジタル化に伴い、地上デジタルテレビの整備が必要となった。										
事業効果の総合分析(達成できたこと)	学校ICT環境整備事業の国庫補助金を活用して、各中学校の普通学級、特別支援学級にデジタルテレビ(50インチ)を購入(86台)した。 また、教師1人に1台の校務用パーソナルコンピュータを購入(中学校155台)し、多角的な活用が図れるようにした。 八街北中学校のパソコン教室のパーソナルコンピュータを42台交換した。										
④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)				
	(最終)予算額		千円			68,721	/				
	決算額		千円		0	0				65,901	
		特定・その他財源()	千円							65,391	
		一般財源	千円							510	
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		委託料 204 工事請負費 1,313 備品購入費 64,384									

Check 事務事業の評価

	区分	一次評価	判定理由		二次評価		
⑤ 事務事業の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	地上デジタル化に対応したテレビの購入である。またパーソナルコンピュータを活用した教室での学習など、学校のニーズは高い。これまで教師個人のパソコンを使用していたことから、今後セキュリティー問題の改善にも繋がる。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	市で実施する事業である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	テレビのモニターが大画面になり、またパソコンを接続したテレビの利用ができるので、学習効果は増大した。		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	購入にあたっては、それぞれ一括購入し、効率性と経費削減を図った。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	全ての学校に同条件で整備している。		A
	総合評価	総括及び事業実施上の課題		ICT関連については、その利用の急速な進展に伴い、新たな局面を迎えている。次世代を担う子ども達のため、技術の進歩に応じた施設設備の充実、情報化の促進を図ることができた。		A	A

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	ICT関連機器を活用した、新たな授業展開に取り組んでいく。また、セキュリティー対策など適正な維持管理を図っていく。						
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
		設備の配備は完了したので、今後はセキュリティーを含めた維持管理や、ソフト機器の充実を図っていく必要がある。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 3-3 -1

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	八街中学校耐震補強事業						部局等	教育委員会			
							課	庶務課			
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025		
		施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街						職・氏名	副主幹 勝又寿雄	
		具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実――学校教育の充実						電話番号	443-1442	内線
	(八街市総合計画)	実施計画				開始	2005	終了	2009		
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律				
直接の対象者(～に対して)	中学校					最終的な受益者	中学生・教職員				
事業目的(～という状態にするために)	校舎及び屋内運動場の耐震補強工事を実施し、耐震性能を確保する。										
具体的な事業内容(～を行う)	耐震性が劣る校舎3棟と屋内運動場の補強工事を実施し、安全を担保する。併せて壁・床・天井・照明施設の改修や床の張替えなど大規模改造工事をを実施し、環境を整備する。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)				
	事業の実績	1	業務委託契約数	件		1	2	1			
		2	工事請負契約数	件				4			
		3									
		4									
	事業の効果	1	設計、監理業務	千円		6227	18,890	11,970			
		2	校舎3棟及び屋内運動場の大規模改造工事	千円				235,000			
		3									
		4									
	事業効果に関する外部要因	耐震診断の結果、校舎3棟及び屋内運動場の耐震性能が劣る事が判明した。耐震指数が低いことから直ちに4棟の耐震化を図ることとした。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)	平成21年度中に補強及び改造工事の実施設計が完了した。22年度に工事を実施する。										
④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)				
	(最終)予算額		千円		8,000	35,770	246,970				
	決算額	特定・その他財源()	千円		6,227	18,890					
		一般財源	千円			18,890	0				
	21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		委託料	18,890							
		工事請負費	0								

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由		二次評価		
⑤ 事務事業 の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	大地震発生時の耐震性が求められている昨今、危険建物の改築や耐震補強については、生徒の安全を確保する上から、早急を実施すべきものである。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	市で関与すべきである。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	平成21年度事業として9月補正で予算計上したため、平成21年度は設計業務を実施した。平成22年度において工事を発注し、平成22年11月の完成を目標としている。		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	工事完成後は、校舎及び屋内運動場の安全が担保され、内装等もリニューアルされる。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	公立学校の施設整備であり、公平性に問題はない。		A
	総合評価	総括及び事業実施上の課題		平成20年度に耐震診断、平成21年度に耐震補強を含めた実施設計を完了した。平成22年度に工事を予定。		A	A

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	校舎は耐震補強のほか、床の全面張替え、照明設備の省エネ製品への全面更新、建具等の改修、壁の塗り替え、手摺りの設置、テレビの配線工事等を行い、より良い学習環境の整備と安全性、将来的なランニングコストの削減を図る。 屋内運動場についても、耐震補強工事の他、照明設備を全面改修し、器具はLEDなどの省エネ型製品を採用し、今後のコスト削減を図る。 老朽化した床(アリーナ)も全面張替えをし、リニューアルする。 便所については、すべて洋式化し、衛生的な設備とする。身障者用も設置する。						
	事務事業の今後の方向性	取組み方向 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 平成21年度からの繰越事業であり、22年度で完了する。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 3-3-2

Plan 事務事業の概要

事務事業名	八街中学校武道場建設事業						部局等	教育委員会				
							課	庶務課				
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025			
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街						電話番号	443-1442	内線	2355
		具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実――学校教育の充実						E-mail	shomu@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画)	実施計画				開始	2005	終了	2009			
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律				
直接の対象者(～に対して)	中学校						最終的な受益者	中学生・教職員				
事業目的(～という状態にするために)	平成24年度からの中学校での武道教育の体育科での必修化、及び現在プレハブ教室を柔道場として活用しているが、老朽化しており、部活動の場を確保する観点から、武道場の建設を実施する。											
具体的な事業内容(～を行う)	木造平屋建て・・609㎡ 柔道場1面、剣道場1面、部室、ミーティングルーム、器具庫、便所等を配置する。											

②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								

D. 事務事業の実施

区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
③ 実績・成果	事業の実績	1 申請等の数	件			4	
		2 業務委託契約数	件			2	
		3 工事請負契約数	件				5
		4					
事業の効果	1 建築確認申請、完了検査	千円				349	
	2 調査、設計業務	千円			6,671	3,031	
	3 武道場の建設工事(609㎡)、部室の新築、既設部室の解体工事、	千円				142,460	
	4						
事業効果に関する外部要因	柔道、剣道等の部活動における練習場所に苦慮していたところである。						
事業効果の総合分析(達成できたこと)	国の緊急経済対策の交付金を活用し、有利な補助金を受けて緊急に実施することとした。21年度では実施設計を行った。						

区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
(最終)予算額		千円	0	0	153,271	145,840	
④ 事業コスト	決算額	千円	0	0	6,671	0	
		特定・その他財源()	千円			0	
		一般財源	千円			6,671	
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		委託料	7,431				
		工事請負費	0				

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由		二次評価	
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	生徒の部活動の場所として必要な施設である。また、一般開放施設として市民のニーズは高い。		A	
	市の関与は妥当ですか	a	市で実施する事業である。			
有効性	期待された効果は得られていますか	a	平成21年度事業として9月補正で予算計上したため、平成21年度は設計業務を実施した。		A	
効率性	事業の効率性を高められますか	a	実施設計にあたって短期間の中で効率的に事業を実施することができた。		A	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	公立学校の施設整備であり、公平性に問題はない。	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題		平成21年度事業として9月補正で予算計上したため、事業は平成22年度へ全額繰越し実施することとなっている。国の制度を有効に活用し、市の負担軽減に配慮した事業である。		A	A

Action 今後の事務事業の方向

22年度における取組のPRと方向性	武道場は、木造平屋建てとし、木のぬくもりを持った施設になるよう設計をした。柔道・剣道の正式な広さを確保し、対外試合等も行える施設とした。体育の授業においても、体育館の他、サブ的に利用でき、様々な授業展開が期待される。照明はLED等の器具を採用し、コスト削減を図る。一般の開放についてもニーズが高く、開放をしていく予定である。								
事務事業の今後の方向性	取り組み方向								
	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
	平成21年度からの繰越事業であり、22年度で完了する。								

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 4-1-1

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	幼稚園施設維持管理事業						部局等	教育委員会			
							課	庶務課			
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025		
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						職・氏名	副主任 勝又寿雄	
		具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実――学校教育の充実						電話番号	443-1442	内線
	(八街市総合計画)	実施計画	幼稚園教育の充実			開始	2005	終了	2009		
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠				
直接の対象者(～に対して)	幼稚園						最終的な受益者	幼稚園児・教職員			
事業目的(～という状態にするために)	施設設備等の維持管理を適正に行い、良好な幼稚園生活を過ごせるようにするため。										
具体的な事業内容(～を行う)	・施設の修繕、樹木の伐採・除草、簡易専用水道管理状況検査、浄化槽法定検査等の実施 ・園舎警備、浄化槽維持管理、貯水槽維持管理、樹木害虫駆除業務等の業務委託 ・幼稚園管理用備品の購入										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)				
	事業の実績	1	幼稚園施設の保守管理業務委託契約数	件	5	7	8	7			
		2	幼稚園施設の修繕契約数	件	13	12	16	13			
		3	各種検査等	件	1	1	1	1			
		4	幼稚園管理用備品(消耗品を含む)購入契約数	件	3	4	3	3			
	事業の効果	1	修繕等による施設設備の適切な機能の維持確保	千円	1,923	1,719	1,642	1,600			
		2	業務委託、検査、調整、賃貸借等による適正な維持管理の実施	千円	1,527	2,636	2,698	2,800			
		3	管理用備品(消耗品を含む)の購入	千円	1,504	1,289	1,075	710			
	事業効果に関する外部要因	施設設備の経年劣化に伴う修繕等の増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。									
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから修繕、整備に務めている。物品についても耐用年数・老朽化度を考慮し、必要なものを購入している。									
④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)				
	(最終)予算額		千円		5,090	5,842	5,520	5,110			
	決算額		千円		4,954	5,644	5,415				
		特定・その他財源()	千円								
		一般財源	千円		4,954	5,644	5,415				
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費(消耗品、修繕) 1,801			使用料及び賃借料 1,080						
		役務費(手数料・保険料) 107			備品購入費 916						
		委託料 1,511									

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由	二次評価		
⑤ 事務事業の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校施設の経年劣化などにより学校からの要望は多くなっている。	A	
		市の関与は妥当ですか	a	市が行う事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な修繕、定期的な部品の交換・補修などにおいて、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施し、おおむね要望に対応することができた。	B	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	同種の業務などについては、幼・小・中学校で一括して発注し経費を削減を図るとともに、軽易な修繕については小規模工事登録業者へ発注し、地元業者育成にも配慮しつつ効率的な執行を図っている。	A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題		施設の経年による修繕等必要な箇所は増えているが、緊急性を考慮しおおむね適正な維持管理が実施されている。	A	A

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	警備業務において、平成22年度から8年間の長期契約とすることで経費の削減を図り、あわせて夜間巡回警備も含めて委託をし、防犯体制の強化を図ることとした。						
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
		幼児の安心安全な園生活を確保するため、施設の定期的な保守点検、修繕、機器の交換等は必要不可欠であり、限られた予算の中で、効率的で先進的な維持管理を図ってまいります。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 4-1-2

Plan 事務事業の概要

事務事業名	幼稚園施設整備事業						部局等	教育委員会			
							課	庶務課			
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025		
		施策の大綱	五の街 めざましです！心の豊かさを感じる街						職・氏名	副主幹 勝又寿雄	
		具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実――学校教育の充実						電話番号	443-1442	内線
	(八街市総合計画)	実施計画	幼稚園教育の充実			開始	2005	終了	2009		
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠				
直接の対象者(～に対して)	幼稚園						最終的な受益者	幼稚園児・教職員			
事業目的(～という状態にするために)	施設設備等の改修工事を行い、良好な幼稚園生活を過ごせるようにするため。										
具体的な事業内容(～を行う)	・幼稚園施設の改修、設備の交換等										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									

Do 事務事業の実施

区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
		1 工事請負契約数	件	0	2	3
2						
3						
4						
事業の実績						
事業の効果	施設設備の改修工事の実施	千円	0	1,258	1,402	1,450
事業効果に関する外部要因	施設設備の経年劣化に伴い実施しなければならない改修工事箇所が増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。					
事業効果の総合分析(達成できたこと)	危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから改修、整備に務めている。平成21年度は、川上幼稚園の園舎塗装、浄化槽改修、舗装整備を実施した。					
区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
(最終)予算額	千円	0	1,500	1,450	1,450	
決算額	千円	0	1,258	1,402		
	特定・その他財源()	千円		0		
	一般財源	千円	0	1,258	1,402	
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	工事請負費 1,402					

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由		二次評価	
⑤ 事務事業 の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の経年に伴い、園からの改修要望等は多くなっている。幼稚園施設の適正な維持管理のため必要である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市立幼稚園であり、市が行う事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な改修工事等において、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施しており、おおむね要望に対応することができた。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に務めており、改善の余地はあまり無い。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、幼稚園間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	
総合評価	総括及び事業実施上の課題		学校施設の適正な維持管理を恒久的に続けていかなければならない。施設の老朽化により修繕要望は増えているが、緊急性に配慮しつつおおむね適切な維持管理がされている。		A	B

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	平成22年度の予定は、八街第一幼稚園照明設備改修、朝陽幼稚園園舎塗装改修を実施する予定である。						
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
		施設設備の経年劣化に対応した、計画的な改修を実施してまいりたい。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 4-1-3

Plan 事務事業の概要

事務事業名	私立幼稚園就園奨励費補助事業						部局等	教育委員会			
							課	庶務課			
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025		
		施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街						職・氏名	主幹・村山のり子	
		具体的施策							電話番号	443-1442	内線
	(八街市総合計画)	実施計画					開始	2005	終了	2009	
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方			現状値	
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	八街市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱			
直接の対象者(～に対して)	私立幼稚園の設置者						最終的な受益者	私立幼稚園の保護者			
事業目的(～という状態にするために)	私立幼稚園に通園する園児の保護者の所得状況に応じて、保護者の経済的負担を軽減するとともに、公立・私立間の保護者負担格差の是正を図る。										
具体的な事業内容(～を行う)	市は国から幼稚園就園奨励費補助金の交付を受け実施。私立幼稚園の設置者は、通園する園児の保護者の所得状況に応じて市に対し補助金申請を行い、補助金の交付を受け保護者に還元する。										

②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								

D. 事務事業の実施

③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)
	事業の実績	私立幼稚園数	園	24	21	15	15
		補助対象者数	人	497	435	390	390
事業の効果							
事業効果に関する外部要因	国の補助制度の変更						
事業効果の総合分析(達成できたこと)	公立幼稚園との格差是正及び、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。						

④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
	(最終)予算額		千円	39,124	36,149	38,467	41,996	
	決算額			千円	38,876	35,868	37,609	0
		特定・その他財源()	千円	10,271	9,600	9,886		
		一般財源	千円	28,605	26,268	27,723		
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		補助金	37,609					

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由		二次評価	
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	公立幼稚園との格差是正及び保護者の経済的負担の軽減のため、ニーズは高い。		A	
	市の関与は妥当ですか	a	国と市で行っている事業であり、妥当である。			
有効性	期待された効果は得られていますか	b	国の補助基準と同額を補助しており、概ね期待どおりの効果は得ている。		B	
効率性	事業の効率性を高められますか	a	国の補助基準で補助しているため、効率性向上の余地はない。		B	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	保護者の所得に応じて補助金額が決定されており、検討の必要性はないと思われる。	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題		幼児教育に対するニーズが高まる中で、保護者負担の格差是正を図り、幼児教育の振興に資するため必要な事業である。		B	B

Action 今後の事務事業の方向

22年度における取組のPRと方向性	国の補助制度の変更にあわせ、補助金額の増額を実施する。 該当する幼稚園に対し、対象となる保護者がこの制度を活用できるよう指導し、周知徹底を図る。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了						
	子育て支援の一環として、国の補助基準に従い、継続して実施していく。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 4-1-4

Plan 事務事業の概要

事務事業名	私立幼稚園運営費補助事業						部局等	教育委員会			
							課	庶務課			
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025		
		施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街						職・氏名	主幹・村山のり子	
		具体的施策							電話番号	443-1442	内線
	(八街市総合計画)	実施計画					開始	2005	終了	2009	
	実施方法	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方			現状値	
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	八街市私立幼稚園運営費補助金交付要綱			
直接の対象者(～に対して)	私立幼稚園の設置者						最終的な受益者	私立幼稚園の保護者			
事業目的(～という状態にするために)	私立幼稚園の設置者に対し補助金を交付することにより、私立幼稚園の健全な運営と通園する保護者の費用負担の軽減を図り、幼児教育の振興に資する。										
具体的な事業内容(～を行う)	私立幼稚園の設置者からの申請により、1学級当 10万円、園児1人当 2,400円を補助金として交付する。										

②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	

D0 事務事業の実施

③実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)
	事業の実績	幼稚園数	園	4	4	4	4
		学級数	学級	23	25	22	22
		園児数	人	537	489	420	420
	事業の効果						
事業効果に関する外部要因							
事業効果の総合分析(達成できたこと)	私立幼稚園の健全な運営に資する事ができた。						

④事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)
	(最終)予算額		千円	3,606	3,674	3,208	3,208
	決算額			千円	3,589	3,674	3,208
		特定・その他財源()	千円				
		一般財源	千円	3,589	3,674	3,208	
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			補助金	3,208			

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由		二次評価	
⑤ 事務事業 の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	公立幼稚園との格差是正及び保護者の経済的負担の軽減のため、ニーズは高い。		A
		市の関与は妥当ですか	b	市内の私立幼稚園への補助事業であり、市が関与する必要がある。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	保護者の負担軽減につながり、概ね期待どおりの効果は得ている。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	幼稚園設置者への直接補助であり、低減の余地はない。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	各私立幼稚園の学級数、通園児数によって決定しており、適切である。	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題		公立幼稚園との格差是正及び保護者の経済的負担の軽減のため、必要である。		B	B

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	市内の私立幼稚園4園に照会し、幼稚園の設置者からの申請により補助する。						
	事務事業の今後の方向性	取組み方向						
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
		今後は園児数の減少が進んでいくため、私立幼稚園の保護者負担が増える事が予想される。 このため、継続的に運営費補助金を支出することにより、私立幼稚園の円滑な運営を図り、ひいては保護者の負担軽減につなげたい。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 4-1-5

Plan 事務事業の概要

事務事業名	幼稚園特別支援事業						部局等	教育委員会			
							課	庶務課			
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了	2025		
	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						職・氏名	主幹・村山のり子		
(八街市総合計画)	具体的施策							電話番号	443-1442	内線	2353
	実施計画					開始	2005	終了	2009		
①事務事業の概要	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (特別支援教育支援員配置)						実施根拠			
	直接の対象者(〜に対して)	市立幼稚園						最終的な受益者	幼稚園児及び保護者		
	事業目的(〜という状態にするために)	多動性障害を持つ園児など、特別に支援を必要とする園児の入園がぞうかしていることから、園児の安全確保にあわせて担任の負担軽減に資する。									
	具体的な事業内容(〜を行う)	千葉県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業補助金をうけ、特別支援を必要とする園児のための、特別支援教育支援員の配置を行う。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									

D. 事務事業の実施

区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
		事業の実績	雇用人数	人		4
事業の効果						
事業効果に関する外部要因						
事業効果の総合分析(達成できたこと)		特別支援員を配置することで、当該園児を含めた園児の安全・安心の確保と担任教諭の負担軽減に資することができた。				
区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
(最終)予算額	千円			2,185	5,959	
決算額	千円	0	0	1,891	0	
	特定・その他財源()	千円		1,891		
	一般財源	千円				
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		賃金	1,886			
		労働災害保険料	6			

Check 事務事業の評価							
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	特別支援を必要とする園児の就園希望の増加により、支援員の配置は必要が高い。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	市立幼稚園に配置することであり、市が実施する必要がある。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	特別支援を要する園児の対応に効果が大きい。		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	該当園児の在園する時間帯を中心に効率的に配置することができた。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	幼稚園規模や在園児の状況に応じた人数を配置している。	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題		特別支援教育支援員の配置は、多動性障害児等の対応に大いに効果があり、適切に実施できた。		A	A	
Action 今後の事務事業の方向							
⑥	22年度における取組のPRと方向性	特別支援教育支援員を1名増やし、市立幼稚園3園にそれぞれ配置した。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
		千葉県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業補助金をうけ、平成21年度から平成23年度まで実施しておりますが、近年特別支援を要する園児の入園要望が増加する中、補助事業終了後も市単独の事業として継続実施する必要がある。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 4-1-6

Plan 事務事業の概要

事務事業名	幼稚園ICT環境整備事業						部局等	教育委員会			
							課	庶務課			
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025		
		施策の大綱	五の街 めざましです！心の豊かさを感じる街						職・氏名	副主幹 勝又寿雄	
		具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実――学校教育の充実						電話番号	443-1442	内線
	(八街市総合計画)	実施計画	幼稚園教育の充実			開始	2005	終了	2009		
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠				
直接の対象者(～に対して)	幼稚園						最終的な受益者	幼稚園児・教職員			
事業目的(～という状態にするために)	地上デジタル化に伴い、地デジ対応アンテナ工事を実施。										
具体的な事業内容(～を行う)	・地デジ対応アンテナ工事										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									

Do 事務事業の実施

③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
	事業の実績	1	業務委託契約数	件			2	/
2		工事請負契約数	件			1		
3		備品購入契約数	件			0		
事業の効果	1	調査、設計業務	千円			142	/	
	2	施設設備(アンテナ等)の改修工事の実施	千円			1,208		
	3	備品の購入	千円			0		
事業効果に関する外部要因	2011年7月の地上デジタル化に伴い、地上デジタル用のアンテナ整備が必要となった。							
事業効果の総合分析(達成できたこと)	学校ICT環境整備事業の国庫補助金を活用して、地デジ対応のための工事を行った。							
④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
	(最終)予算額		千円			1,654	/	
	決算額		千円		0	0		1,350
		特定・その他財源()	千円					1,207
		一般財源	千円					143
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		委託料	142					
		工事請負費	1,208					

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由	二次評価		
⑤ 事務事業の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	地上デジタル化に対応した設備の充実のため必要性である。		
		市の関与は妥当ですか	a	市の事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	地デジ対応のための設備は整った。		
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	工事発注にあたって効率的に実施された。		
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	公立幼稚園全て同条件の施設整備であり、公平性に問題はない。	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題		2011年の地デジ移行に向けた態勢を整えることができた。		A

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	アンテナ工事は実施したが、テレビは既存を活用するため、チューナーなどの設置を検討する。						
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
		テレビ本体のデジタル化は図っていないため、チューナー等の購入による対応が必要である。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 5-1-1

Plan 事務事業の概要

事務事業名	社会教育総務費						部局等	教育委員会	
							課	社会教育課	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画)	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025
		施策の大綱	五の街 めざします！心の豊かさを感じる街						
		具体的施策	自ら学ぶ生涯学習の推進						
		実施計画	社会教育活動の推進			開始	2005	終了	2009
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	社会教育法・八街市社会教育委員会に関する条例 八街市社会教育指導員の設置等に関する規則・八街市家庭教育指導員の設置等に関する規則	
直接の対象者(～に対して)	市民						最終的な受益者	市民	
事業目的(～という状態にするために)	市の社会教育の充実を図るため、社会教育委員を委嘱し社会教育に関する意見や教育委員会の諮問に答申を得る。また、社会教育指導員及び家庭教育指導員を委嘱することで、高齢者教育及び家庭教育の充実を図る。								
具体的な事業内容(～を行う)	1 社会教育委員会議を開催し、社会教育事業について提案や検証。また、教育委員会の諮問に対する答申や提言。 2 社会教育指導員及び家庭教育指導員の委嘱								

②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目						

Do 事務事業の実施

③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)
	事業の実績	1	社会教育委員会議の開催	回	5	5	5
2		高齢者学級の実施	学級	2	2	2	2
3		家庭教育学級の実施	学級	15	15	15	15
事業の効果	1	答申・建議・提言等件数	件	1	0	0	1
	2	高齢者学級参加者数	人	46	46	46	60
	3	家庭教育学級修了者数	人	243	179	248	250
事業効果に関する外部要因							
事業効果の総合分析(達成できたこと)		会議の活発化により、各事業への委員会議の意見を反映し活性化できた。また、会議の建議により青少年健全育成都市宣言をすることが出来た。また、青少年健全育成都市宣言を受けて提言を作成中である。					

④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)
	(最終)予算額		千円	3,920	3,953	3,977	3,977
	決算額		千円	3,886	3,919	3,620	0
		特定・その他財源()	千円				
一般財源		千円	3,886	3,919	3,620		
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報酬		3,620			

Check 事務事業の評価

⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか		a	社会教育委員は、社会教育事業に市民の意見や要望を反映するために必要であり、指導員は、経験や専門性をとおして各事業の充実のため必要である。	A
市の関与は妥当ですか			a	社会教育委員は、社会教育行政の重要事項を審議し、決定する機関として大きな役割を担っている。指導員は市の社会教育行政に大きく寄与しており適切である。		
有効性	期待された効果は得られていますか		a	社会教育委員による、年間5回の審議は、内容の濃いものでその結果が事業に反映されている。また、青少年教育、家庭教育など具体的な研修をとおして建設的な意見が得られている。指導員は、高齢者教育、家庭教育に対し適切な指導や助言を行い事業の充実に貢献している。	A	
効率性	事業の効率性を高められますか		a	社会教育委員会会議は、年間5回行い社会教育の推進力となっている。また、社会教育・家庭教育指導員は、高齢者学級9学級(自主7学級)の運営や指導、助言や家庭教育15学級の充実を図っており効率的な執行が行われている。	A	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか		a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし 社会教育委員会会議の審議内容は、社会教育事業に反映される。また、高齢者や家庭教育支援は、誰でも受講できることから公平性に問題はない。	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題			社会教育委員は年回5回の会議を活発に実施しており年間出席率97%あり、青少年健全育成の施策提言に向けた委員会や、年間事業についての意見等が市の社会教育行政の推進に大いに役立っている。なお、社会教育委員の定数については検討の余地がある。社会教育指導員及び家庭教育指導員は週3日の勤務で高齢者教育や家庭教育にその経験や知識を活かし、課の推進力となっている。	A	A

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	生涯学習推進大会の充実を図り、社会教育委員が前面に大会を運営する。また、家庭教育リーフレットを配布し家庭教育相談のPRを行う。						
	事務事業の今後の方向性	取組み方向						
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
		社会教育委員は、社会教育計画を立案する機関であり、継続して実施しなければならない。指導員は、事業を運営する上で今後も必要である。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 5-1-2

Plan 事務事業の概要

事務事業名	生涯学習振興事業						部局等	教育委員会				
							課	社会教育課				
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画)	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025			
		施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街						職・氏名	副主幹・土屋武志		
		具体的施策	自ら学ぶ生涯学習の推進						電話番号	443-1464	内線	2383
		実施計画	社会教育活動の推進				開始	2005	終了	2009		
		「めざそう！ね(値)」指標	生涯学習や文化活動についての満足度%	指標の内容	生涯学習や文化活動についての市民の評価、市民意識の調査結果が示す指標			めざそう値(目標設定)の考え方	5ポイントの増	現状値	24.6	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	教育基本法 社会教育法					
直接の対象者(〜に対して)	市民					最終的な受益者	市民					
事業目的(〜という状態にするために)	市民を対象とした各種学級、講座、研修会、講演会などとおして、生涯にわたり生きがいのある生活と、心がかようまちづくりを目標として、市民の学習に対する関心を高める。											
具体的な事業内容(〜を行う)	市民を対象とした各種学級、講座、研修会、講演会など											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	生涯学習や文化活動について									
	子どもから老人まで誰でも参加できるボランティアや催し物を増やすといいと思います。											

Do 事務事業の実施

区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
		事業の実績				
1	生涯学習推進大会の開催	回	1	1	1	1
2	家庭教育講演会の開催	回	1	1	1	1
3	家庭教育学級の実施	学級	15	15	15	15
4	千葉黎明高等学校開放講座の実	講座	2	2	2	2
5	高齢者学級の実施	学級	2	2	2	2
6	地域ミニ集会の実施	会場	6	5	6	10
7	女性リーダー研修会の開催	回	1	1	1	1
8	地域コーディネーター講座の開催	講座	0	0	1	1
事業の効果						
1	生涯学習推進大会の参加者数	人	272	694	532	500
2	家庭教育講演会の参加者数	人	226	243	406	450
3	家庭教育学級の参加者数	人	1125	774	798	800
4	千葉黎明高等学校開放講座の参加者数	人	75	75	75	70
5	高齢者学級の参加者数	人	46	46	46	60
6	女性リーダー研修会参加者数	人	38	50	86	150
7	地域コーディネーター講座参加者数	人			17	20

事業効果に関する外部要因
生涯学習推進大会は、講演者により大きく左右される。家庭教育学級は社会状況(共働き世帯の増加)などにより若干減少傾向にある。地域ボランティアについては、教育後援会や既存の支援組織等の活用が重要である。

事業効果の総合分析(達成できたこと)
各事業を実施し、市民の参加を得たことで市民の学習要求に応えることができた。

区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)
(最終)予算額	千円	1,753	2,054	2,044	2,000
決算額	千円	1,619	1,582	1,745	0
	特定・その他財源()	千円			
	一般財源	千円	1,619	1,582	1,745
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	報償費	339	需用費	224	
	役務費	546	委託費	636	

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由		二次評価	
⑤ 事務事業 の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	生涯学習に対する市民の要求が高まっており、今後、更に需要は増大するものと思われる。		A
		市の関与は妥当ですか	b	民間等ではできない事業を実施することで、地域や家庭の教育力の向上に寄与する必要があるから。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	参加者数の増加が見られた。地域コーディネーター講座では、交進小学校区に交進未来塾を立ち上げることができた。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	常に経費の節減等に努めており、ボランティアの活用も積極的に行っている。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	講座等で使用する材料費等は参加者の負担としており適切である。	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題		創意工夫をこらした講演会や講座等を企画し実行できた。また、新規事業として地域コーディネーター講座を実施し、地域教育力の向上に努めることができた。今後も更なる工夫により多くの市民が主体的にまちづくり等に関われる事業の展開が課題である。		B	B

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	きめ細やかな運営とマスコミやインターネット等を活用したPRを心がける。また、家庭教育の充実のため、学級長との懇談会を開催し、学級と教育委員会との意思の疎通を図る。更に、他部署との連携を図ることで事業充実に図る。						
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 ますます増大する生涯学習に対する市民ニーズに応えるための事業展開をする必要がある。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 5-1-3

Plan 事務事業の概要

事務事業名	文化振興事業						部局等	教育委員会	
							課	社会教育課	
						職・氏名	副主幹・土屋武志		
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025	
	施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街						電話番号	443-1464 内線 2383
	具体的施策	市民文化の創造						E-mail	shakyo@city.yachimata.lg.jp
	実施計画	芸術文化の振興			開始	2005	終了	2009	
(八街市総合計画)	「めぞう！ね(値)」	指標	106	八街市民文化祭参加者数	指標の内容	文化活動に対する関心の高さをみます。	めぞう値(目標設定)の考え方	10%増をめざします 現状値 1291	
① 事務事業の概要	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠	文化芸術振興基本法 社会教育法		
	直接の対象者(～に対して)	市民				最終的な受益者	市民		
	事業目的(～という状態にするために)	市民文化の向上を図る。							
	具体的な事業内容(～を行う)	八街市民音楽祭及び市民文化祭を行う。							
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	生涯学習や文化活動について						
			なし						

Do 事務事業の実施

		区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
③ 実績・成果	事業の実績	1	市民文化祭の実施	回	1	1	1	
		2	市民音楽祭の実施	回	1	1	1	
	事業の効果	1	市民文化祭の参加者数	人	1090	1144	1207	1200
		2	市民音楽祭の来場者数	人	600	523	600	600
事業効果に関する外部要因		文化団体の固定化						
事業効果の総合分析(達成できたこと)		市民文化祭は、市文化協会などの協力により実施し、音楽祭については市民団体をはじめ市内の中学校及び高校の協力のもと市民との協働による事業実施ができた。						

		区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)
④ 事業コスト	(最終)予算額		千円	825	825	790	881
	決算額		千円	824	818	775	0
		特定・その他財源()	千円				
	一般財源		千円	824	818	775	
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報償費	80		需用費	208	
		役務費	24		補助金	400	
		賃借料	63				

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由		二次評価	
⑤ 事務事業 の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市民の文化活動に対する需要は、ますます増大している。		A
		市の関与は妥当ですか	c	プロの芸術家、民間のNPOや企業等との連携による事業の充実を図る必要がある。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	参加者数の固定化の打開などが求められる。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	各事業は市民団体や個人が実行委員等になり実施している。今後も協働による実施の強化に努める。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	文化協会への補助金拠出は、市民文化祭を主催するなど市民文化の振興に多大に寄与しており適切である。	B
	総合評価	総括及び事業実施上の課題		市民文化祭、市民音楽祭とも市民が実行委員となり実施することができた。今後、幅広い芸術文化の人材発掘や参加者層の拡大等が課題である。		B

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	きめ細やかな運営とマスコミやインターネット等を活用したPRを心がける。また、展示等の工夫や文化祭への一般市民の参加拡大を図る。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		プロの芸術家も含め、市民芸術を市民に知らしめるため、より幅広い事業展開をする必要がある。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 5-1-4

Plan 事務事業の概要

事務事業名	文化財保護費				所管課等	部局等	教育委員会			
						課	社会教育課			
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025		
	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
(八街市総合計画)	具体的施策	文化財の保護・継承								
	実施計画	文化財の保護・継承				開始	2005	終了	2009	
	「めざそう！ね(値)」指標	市指定文化財の件数	指標の内容	文化財の保護が図られているかどうか	めざそう値(目標設定)の考え方	2件の指定増	3基の増	現状値	18	67
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (文化財ボランティアとの協働事業)				実施根拠	文化財保護法/千葉県文化財保護条例/千葉県教育委員会の権限の属する事務処理の適正化に関する条例/八街市文化財保護に関する条例			
直接の対象者(〜に対して)	①市民、土木工事等を行う者、文化財 ②市指定文化財所有者・管理者・保持団体				最終的な受益者	①市民、県民、国民 ②所有者・管理者・保持団体、市民				
事業目的(〜という状態にするために)	市民文化向上・発展のため、文化財の保護・活用・継承を図る。									
具体的な事業内容(〜を行う)	<input type="checkbox"/> 指定文化財の指定・管理・活用 <input type="checkbox"/> 各種文化財及び埋蔵文化財調査 <input type="checkbox"/> 市指定無形民俗文化財保持団体への支援 <input type="checkbox"/> 文化財ボランティアの育成及び活動支援									
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	芸術文化活動や文化財保護活動								
		(なし)								

D. 事務事業の実施

区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
		事業の実績	①出前講座の実施回数	回	2	5
事業の効果	②文化財保護周知用立看板年間設置数	基	1	1	5	1
	③文化財ボランティア講座・講習会の開催	回	1	1	2	1
	①出前講座の年間総受講者数	人	45	123	226	230
事業効果に関する外部要因	②文化財保護周知用立看板の総設置数	基	66	67	71	72
	③文化財ボランティアの活動回数	回	3	15	10	12
事業効果の総合分析(達成できたこと)	出前講座は、平成21年度までは受動的な手法で実施してきたが、市民の歴史・文化財に対する関心は年々高まっており、各種団体からの要請にすべて対応した。文化財立看板は、優先順位や要望に基づいて整備し、文化財等の周知を図った。文化財ボランティア活動は、団体による定期的な活動が定着し、これらに対する支援を怠らないように留意している。出前講座、文化財立看板、文化財ボランティア活動支援を通じて、文化財保護意識の拡充を図ることができた。					
区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
(最終)予算額	千円	1,278	1,335	1,151	958	
決算額	千円	844	916	728	0	
	特定・その他財源()	千円				
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	一般財源	千円	844	916	728	
	報酬	84	需用費	64	負担金補助交付金	174
	報償費	19	委託料	271		
	旅費	64	賃借料	52		

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由		二次評価		
⑤ 事務事業の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	文化財や歴史に対する市民の関心は高まる一方であり、市民の要望等にも応えながら文化財保護思想の普及を図ることにより市・県・国民の文化の向上・発展のため必要不可欠である。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	法・条例に基づく事務・調査の他、行政のみが可能な業務が大半であるため、必要である。なお、ボランティア等との協働事業に関しては、ボランティアが行うものと行政が行うべきものの棲み分けを明確にしている。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	直接的な事業の成果の把握は難しいが、復元が不可能な文化財を保護することは、市・県・国民の文化の向上・発展に資するものである。		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	少ない人員体制ながら、常に費用対効果・経費の節減を考慮しながら必要な業務を実施しており、効率性は極めて高い。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	全ての業務が市・県・国民の利益に繋がるものであり、公平性は極めて高い。		A
	総合評価	総括及び事業実施上の課題		法・条例に基づく事務・調査については、引き続き適正な実施に努める。また、文化財や歴史に対する市民の高い関心にも応えながら、市・県・国民の文化の向上・発展のため、引き続き効率的かつ効果的な事業の展開を図る。併せて、市民協働による文化財保護活動を強力に推進する。		A	A

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	新規事業「八街の歴史・文化財出前講座」に重点を置く。活発な周知活動を行い、円滑な出前講座の実施に努める。							
	事務事業の今後の方向性	取組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		「八街の歴史・文化財出前講座」を充実させると共に、既存事業との連携を図りながら、さらなる文化財保護思想の普及に努める。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 5-1-5

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	青少年健全育成事業						部局等	教育委員会			
							課	社会教育課			
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025		
		施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街								
		具体的施策	子どもの教育・健全育成の充実								
	(八街市総合計画)	実施計画	青少年の健全育成				開始	2005	終了	2009	
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	社会教育法				
直接の対象者(～に対して)	市民					最終的な受益者	市民				
事業目的(～という状態にするために)	青少年教育事業をとおして青少年の健全育成を推進する。										
具体的な事業内容(～を行う)	青少年教育事業及び青少年相談員の委嘱										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	青少年の健全育成								
			なし								
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)				
	事業の実績	1	青少年相談員主催事業の実施	事業	3	3	3	3			
		2	通学合宿の実施	校数	2	2	2	2			
		3	スクールコンサートの実施	会場	4	8	4	8			
		4	成人式の実施	回	1	1	1	1			
		5	放課後子ども教室の実施	回	0	19	19	9			
	事業の効果	1	夏休み映画会の参加者数	人	1524	1133	1294	1500			
		2	少年少女つどい大会の参加者数	人	420	257	146	200			
		3	通学合宿の参加者数	人	34	36	40	40			
		4	成人式の参加者数	人	750	743	709	700			
5		放課後子ども教室の参加者数	人	0	333	331	180				
事業効果に関する外部要因		青少年相談委員活動の活発化。ボランティアの協力。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)		各事業を実施することで青少年健全育成を推進できた。特に放課後子ども教室では、老人クラブ、退職校長会、NPO団体、レクリエーション協会などの団体に運営委員としての協力を得て子どもたちに安心で安全な遊び場の提供ができた。									
④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	4,550	4,168	3,346	4,692				
	決算額			千円	4,495	4,053	3,221	0			
		特定・その他財源()		千円	205	299	300				
		一般財源		千円	4,290	3,754	2,921				
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報償費	567		需用費	1,072					
		役務費	907		補助金	651					
		賃借料	24								

Check 事務事業の評価

⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	青少年の健全育成は社会的な課題となっている。		A	
	市の関与は妥当ですか	b	家庭や地域との連携を図る上でも市の関与は必要。				
有効性	期待された効果は得られていますか	b	年々各事業への参加者が増加しつつある。		B		
効率性	事業の効率性を高められますか	a	常に経費の節減等に努めており、ボランティアの活用も積極的に行っている。		B		
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	講座等で使用する材料費等は参加者の負担としており適切である。	A		
総合評価	総括及び事業実施上の課題		放課後子ども教室を公民館で実施することで、市内のモデルとすることができ22年以降も継続することとなった。また、青少年相談員との連携を密にすることで、不審者情報などのメール配信等の工夫をし、地域の青少年を守る活動が展開できた。更にスクールコンサートでは、中学生向けに障害を乗り越えたアーティストを招聘することで、あきらめないことの大切さを知らせることができた。青少年教育事業は、青少年健全育成を行う上で重要であり、さらなる拡充が求められる。		B	B	

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	きめ細やかな運営とマスコミやインターネット等を活用したPRを心がける。また、学校・地域・家庭が一体となった青少年健全育成を推進するため、あらゆる機会を活用しPRに努める。						
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 青少年相談員の更なる活動の促進と地域ボランティアの育成・活用による地域教育力の向上に努める。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 5-1-6

Plan 事務事業の概要

事務事業名	たけのこの里管理運営事業						部局等	教育委員会				
							課	社会教育課				
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025			
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						電話番号	443-1464	内線	2383
		具体的施策										
	(八街市総合計画)	実施計画					開始	2005	終了	2009		
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方			現状値		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠					
直接の対象者(～に対して)	市民						最終的な受益者	市民				
事業目的(～という状態にするために)	市民や子どもたちが、たけのこを掘る自然体験活動の場を提供する。											
具体的な事業内容(～を行う)	市民に親しまれる施設とするための環境整備や竹の間引き作業を行う。子どもと大人と一緒にを行うたけのこ掘り体験期間を設定し、市民に開放する。											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										

Do 事務事業の実施

区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
		事業の実績	1 体験学習期間の実施	月	1	1
事業の効果	1 体験者数	人	360	462	695	500
事業効果に関する外部要因	利用者からの口コミによるPR効果。					
事業効果の総合分析(達成できたこと)	毎年利用者増加を見ることができている。また、子どもを含めたグループ等の体験学習により、自然体験や協力し合う心、親子の恰好のふれあいの場とすることができ、地域教育力や家庭教育力の向上につなげることができた。					
区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
(最終)予算額	千円	1,360	1,216	1,164	1,148	
決算額	千円	1,347	1,201	1,156	0	
	特定・その他財源()	千円				
	一般財源	千円	1,347	1,201	1,156	
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	需用費	29 役務費			7	
	委託料	1,148 使用料			164	

Check 事務事業の評価

⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	大人と子どもが一緒になって自然体験をする場は限られているので、たけのご掘りをおとしての自然体験が家庭教育や地域教育力の向上につながりとても好評である。	A	
市の関与は妥当ですか		b	市有地の有効利用の観点から妥当であるが、ボランティア等の活用も進める必要がある。			
有効性	期待された効果は得られていますか	b	ふれあいの場とし、自分たちで掘ったたけのこで食卓を囲んだり、地域に配ったりすることで、家庭や地域のつながりを深めている。	B		
効率性	事業の効率性を高められますか	b	現状も、市職員が間引き作業や除草剤散布などを行い効率化に努めている。	B		
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし たけのご掘りの体験学習をおとして、家庭や地域の教育力の向上につながっている。また、無料の体験をすることで自然の恵みの大切さや生態の学習の場ともなっている。市内の人であれば子どもを伴ったグループなどで誰でも行うことができることから公平である。	B		
総合評価	総括及び事業実施上の課題		施設整備の面では、来場者に親しんでもらうため手作りベンチ4基を設置した。また、たけのご掘り体験はPR効果もあり毎年利用者数が増加している。体験者からは「初めてのたけのご掘りを親子ですることですばらしいふれあいの機会となった」との感想が多数寄せられている。今後は、自然体験施設の更なる活用の検討やボランティアの活用が課題となる。	B	C	

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	広報などを活用したPR及び木や花を植栽し、近隣住民からも親しまれる施設にする。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		体験施設の建設によるより充実した体験活動の場とする。また、ボランティアの活用で、地域と子どもたちのふれあいの場とする。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 5-1-7

Plan 事務事業の概要

事務事業名	こども110番支援事業						部局等	教育委員会				
							課	社会教育課				
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025			
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						電話番号	443-1464	内線	2383
		具体的施策										
	(八街市総合計画)	実施計画					開始	2005	終了	2009		
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方			現状値		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (こども110番推進協議会)						実施根拠					
直接の対象者(～に対して)	こども110番推進協議会						最終的な受益者	市民				
事業目的(～という状態にするために)	子どもたちに対する犯罪を未然に防ぎ、緊急避難場所の確保を目的としたこども110番事業の支援。											
具体的な事業内容(～を行う)	協力世帯募集、看板作成支援及び協力世帯に対する保険加入。											

②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	青少年の健全育成
			防犯

D. 事務事業の実施

③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
	事業の実績	1	協力家庭用看板作成枚数	枚	200	0	1000	0
		2	地域周知用看板立て替え本数	本	1	0	0	1
		3	募集チラシ印刷枚数	枚	500	500	0	0
事業の効果	1	協力世帯数	世帯	1967	2002	1,970	2000	
事業効果に関する外部要因	PTA連絡協議会の取り組み。							
事業効果の総合分析(達成できたこと)	引越しなどの事情から退会した協力世帯の把握を積極的に行ったことから、協力世帯数が20年度から27世帯の減となったが16件の新規協力世帯があった。今後も退会世帯の把握を推進したい。事業効果としては、看板を設置していただくことで、青少年に対する犯罪抑止効果。							

④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
	(最終)予算額		千円		528	148	289	148
	決算額		千円		483	134	282	
		特定・その他財源()	千円					
		一般財源	千円		483	134	282	
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費		182				
		役務費		100				

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由		二次評価	
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	青少年に対する凶悪犯罪が社会的な問題となっている。		A	
	市の関与は妥当ですか	b	家庭や地域との連携を図る上でも市の関与は必要。			
有効性	期待された効果は得られていますか	b	地域での犯罪等の抑止効果がある。		B	
効率性	事業の効率性を高められますか	a	簡易な看板作成による作成費の削減ができたことで、劣化看板の交換等を行うことができた。		B	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	公益性事業であるので、受益者負担は適当でなく公平である。	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題		昨年まで、色がはげた看板の交換を再三依頼されていたが単価が高いため少しずつの補充に留まっていた。今年度、看板を工夫し安価で以前のものと同耐久性もさほど変わらないものに換えて1000枚補充をしたことで色はげ看板の交換が行え、協力者から好評であった。子ども110番協力世帯への飛び込み事例は、数年間で1件程度であるが、地域で看板を掲げることで、地域防犯意識の高揚と抑止効果がある。今後の課題としては、退会世帯の把握をすること。		B	B

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	各学区のPTAによる周知活動及び広報やホームページの活用。						
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 これからも継続した支援事業を行い安全で安心なまちづくりの推進を図る。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 5-2-1

Plan 事務事業の概要

事務事業名	中央公民館管理運営費(管理関係)						部局等	教育委員会		
							課	中央公民館		
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了	2025	
	施策の大綱	五の街 めざします！心の豊かさを感じる街								
① 事務事業の概要	具体的施策	自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進								
	実施計画	社会教育活動の推進				開始	2005	終了	2009	
	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方		現状値	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠		
直接の対象者(～に対して)	市民						最終的な受益者	市民		
事業目的(～という状態にするために)	市民が利用するにあたり、常時利用しやすい状況とする。									
具体的な事業内容(～を行う)	館内の清掃・設備点検									

②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	

Do 事務事業の実施

③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
	事業の実績	1	清掃業務	回	1	1	1	1
		2	警備業務	回	1	1	1	1
		3	消防設備点検業務	回	1	1	1	1
		4	空調設備等保守点検業務	回	1	1	1	1
		5	夜間管理業務	回	1	1	1	1
事業の効果								
事業効果に関する外部要因								
事業効果の総合分析(達成できたこと)	市民が利用するにあたり、常時利用しやすい状況とすることができた							

④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
	(最終)予算額		千円		8,982	8,876	12,800	10,067
	決算額	特定・その他財源()	千円		8,982	8,713	8,658	
		一般財源	千円		8,982	8,713	8,658	
	21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		委託料		8,658			

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由		二次評価	
⑤ 事務事業 の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市民サークル活動の活性化にあつた場所として、施設内の清掃業務・夜間管理・点検業務等が必要である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市の施設である		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	全市民が対象となるため、施設内の点検内容等の見直しが必要		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	職員のできる物については、職員が対応することにより経費の節減に努め、効率的な執務を図っている		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	サークル・団体等が発表の場として安全にできるような管理を行った。	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題		概ね適正な維持管理がされている。しかし、築30年以上が経ち施設の老朽化が進んでいるため、一部床の改修工事を行ったが、引き続き優先順位を考慮し、施設設備の改修が必要である		A	B

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	利用者に快適な環境を確保するため、地域活性化経済危機対策臨時交付金を活用し、老朽化した空調設備の全面的な改修や、床改修工事を実施する						
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
		引き続き、市民の利用性及び安全性を考えた管理体制の充実を図る必要がある						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 5-2-2

Plan 事務事業の概要

事務事業名	中央公民館管理運営費(講座関係)						部局等	教育委員会				
							課	中央公民館				
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025			
		施策の大綱	五の街 めざします!心の豊かさを感じる街						職・氏名	主査補 栗原清子		
		具体的施策	自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進						電話番号	443-3225	内線	2375
	(八街市総合計画)	実施計画	社会教育活動の推進				開始	2005	終了	2009		
		「めざそう!ね(値)」指標	公民館講座参加人数	指標の内容	生涯学習への関心の高さや、公民館講座の魅力度を見ます	めざそう値(目標設定)の考え方	約2倍(1130人)	現状値	645人			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠						
	直接の対象者(〜に対して)	市民				最終的な受益者	市民					
	事業目的(〜という状態にするために)	市民の学習意欲や社会的課題に対応するとともに、広域的な連携を強化し情報の提供をするため。										
	具体的な事業内容(〜を行う)	公民館運営審議会会議、各種講座開催										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										

Do 事務事業の実施

③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)
	事業の実績	1	運営審議会開催	回	3	3	3
2		講座開催(長期・前期・後期)	講座	10	10	11	15
事業の効果	1	運営審議会委員出席数	人	13	15	15	15
	2	講座参加者人数	延数	3,006	2,755	2,314	2,500
	3	こうみんかん祭	来館数	4,000	6,500	4,329	5,000
	事業効果に関する外部要因						
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		生きがいのある学習を行うことにより、知識や技術を社会に役立てる。交流活動を通して、地域の奉仕を考えながらサークル等の仲間づくりに努めた。				
④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)
	(最終)予算額		千円	2,430	2,323	2,262	2,262
	決算額		千円	2,166	2,078	2,052	0
		特定・その他財源()	千円				
		一般財源	千円	2,166	2,078	2,052	
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報酬	298				
		報償費	1,098				
		印刷製本費	656				

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由		二次評価	
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市民ニーズは高くなっており、生きがいのある学習を行うことが社会に役立てるため必要である		A	
	市の関与は妥当ですか	b	サークル等の結成のきっかけ作りとなっている			
有効性	期待された効果は得られていますか	a	学習講座修了後、サークル等を結成し、社会教育活動に努めている		B	
効率性	事業の効率性を高められますか	a	身近な講師を活用することで経費節減を図り、効率性は高められた		A	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	公民館運営審議会に諮り講座を開催し、市民の交流を深めるためには適切である。	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題		講座を通して市民の交流を深めることができた。なお、主催講座などについて一層のPRを図り、公民館活動の活性化に努める必要がある		A	A

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	より多く市民参加ができるような事業の展開を行っていく						
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 市民ニーズにあった内容の講座を実施する。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 5-2-3

Plan 事務事業の概要													
事務事業名	中央公民館整備事業						部局等	教育委員会					
							課	中央公民館					
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025	所管課等 職・氏名 主査補 栗原清子 電話番号 443-3225 内線 2375 E-mail kominkan@city.yachimata.lg.jp			
		施策の大綱	五の街 めざします！心の豊かさを感じる街										
(八街市総合計画)	実施計画	具体的施策	自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進										
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容	めざそう値(目標設定)の考え方	開始	2005	終了	2009	現状値			
		■ 直接実施	<input type="checkbox"/> 業務委託		<input type="checkbox"/> 補助金交付		実施根拠						
		<input type="checkbox"/> 負担金	<input type="checkbox"/> その他		()								
直接の対象者(～に対して)	公民館施設						最終的な受益者	市民(公民館利用者)					
事業目的(～という状態にするために)	公民館施設整備を充実し、利用者の利便性を図る。												
具体的な事業内容(～を行う)	公民館施設内の修繕及び管理												
Do 事務事業の実施													
③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)						
	事業の実績	1	施設内の修繕費		4,213	726	1,488	807					
		2	工事請負費		1,239	1,995	3,371	72,190					
		3											
	事業の効果	1	公民館機能の充実、学習ニーズに対応した施設・設備を提供できた。										
		2											
		3											
		4											
	事業効果に関する外部要因												
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		施設の老朽化が激しいため、優先順位を考えて改修工事を行った。										
④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)						
	(最終)予算額		千円		5,493	2,764	72,026	72,997					
	決算額			千円		5,452	2,721	4,859	0				
		特定・その他財源()		千円									
			一般財源		千円		5,452	2,721	4,859				
	21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)				1,488								
			修繕費	1,488									
			工事請負費	2,898									
			工事請負費	473									

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由		二次評価	
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市民ニーズは高くなっており、活動の場として市民に直接関係があるため必要である		A	
	市の関与は妥当ですか	a	市の施設である			
有効性	期待された効果は得られていますか	a	市民より、施設の修繕要求を実施し、優先順位を考慮して修繕を行った		A	
効率性	事業の効率性を高められますか	a	節電、節水等経費の節減に努め効率的な執行を図る		A	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	サークルグループ等が学習し、特に発表の場として反映されるため適切である。	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題		築30年以上が経ち施設の老朽化が激しいため、優先順位を考慮して修繕が必要である。		A	A

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	優先順位を考えた修繕 平成21年度からの繰越予算となるが、 ①地域活性化・経済危機臨時交付金を活用し、エアコン全面改修工事、大会議室廊下及び舞台床改修工事、耐震診断 ②地域活性化・きめ細やかな臨時交付金を活用した施設改修等を行い施設整備を図る。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 今年度行う耐震診断結果等を考慮し、市民の利用性及び安全性を考えた施設整備を継続的に行っていく。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 5-3-1

Plan 事務事業の概要

事務事業名	図書館管理運営費(資料収集、読書の普及、利用促進)						部局等	教育委員会		
							課	図書館		
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了	2025	
	施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街 自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進								
① 事務事業の概要	具体的施策	社会教育活動の推進								
	実施計画			開始	2005	終了	2009			
	「めざまし！ね(値)」	指標	①1人あたり図書貸し出し冊数 ②図書館蔵書冊数	指標の内容	図書館に対する市民ニーズや自ら進んで学習活動しているかを見ます		めざまし値(目標設定)の考え方	①5,63冊 ②50,000冊の増	現状値	①5,12冊 ②241,507冊
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	図書館法・八街市立図書館設置条例・八街市立図書館の管理及び運営に関する規則		
直接の対象者(〜に対して)	市民					最終的な受益者	市民			
事業目的(〜という状態にするために)	市民のニーズに即した図書館サービスとだれもが等しく図書館サービスを受けることができる事業の展開により、読書の普及と図書館の利用促進を図る。									
具体的な事業内容(〜を行う)	・資料の収集：多様化する市民ニーズに応えるために、必要な資料を選書会議により収集し、利用の拡大を図る。 ・児童サービス：快適な読書環境の提供や、おはなし会や市内小学校を対象に巡回おはなし会などを実施している。 ・集会活動：様々な年齢層を対象に、講座や映画会を開催している。 ・情報発信：図書館ホームページの作成・公開及び新刊情報や図書館だより等の発行物を作成し配布している。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								

Do 事務事業の実施

区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
		1 児童サービス：おはなし会の開催数	回	91	88	91
2 児童サービス：巡回・臨時・出張おはなし会の回数	回	52	48	47	49	
3 集会活動：講座、映画会の開催数	回	44	41	43	44	
4 情報発信：発行物のタイトル数	回	11	11	11	12	
5 資料の収集：図書購入冊数	冊	10,975	10,074	10,361	10,000	
事業の効果	1 児童サービス：おはなし会の参加者数	人	792	821	634	800
	2 児童サービス：巡回・臨時・出張おはなし会の参加者数	人	1,400	1,354	1,335	1,363
	3 集会活動：講座、映画会の参加者数・参加組数	人	806人 19組	817人 35組	681人 16組	768人 20組
	4 資料の貸出：図書貸出冊数	冊	384,191	381,262	394,581	395,000
事業効果に関する外部要因						
事業効果の総合分析(達成できたこと)	市民が必要とする資料の収集、児童サービスや集会活動の実施及び図書館情報発信等の事業の展開により、読書の普及並びに図書館の利用促進を図ることができた。					
区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
(最終)予算額	千円	18,806	18,540	17,883	16,338	
決算額	千円	18,741	18,428	17,870		
	特定・その他財源()	千円				
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	貸出用図書購入費	15,962	印刷製本費	88		
	報償費	10	図書館消耗品	1,802		
	食料費	8				

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	図書館は地域を支える学習拠点、情報拠点として位置づけられており、市民の読書を推進するとともに、必要な資料や情報を収集して、市民の自立的な判断を支えるために欠かせない施設である。		A
市の関与は妥当ですか		a	市民の生涯学習を支援する拠点として、図書館の果たす役割はますます重要性を増している。			
有効性	期待された効果は得られていますか	b	市民の資料購入に対する要望にできる限り応えられた。また、子どもの読書離れを防ぐため、おはなし会や講座などを企画し子どもたちに幅広い読書の機会を提供しており、有効である。		B	
効率性	事業の効率性を高められますか	b	経費の節減に努めるとともに、効率的な執行を図っている。		B	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない(図書館法第17条)	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題		生涯学習の場として、資料の収集、各種事業を展開して、市民のニーズに即したサービスを提供することができたが、より効率的な運営により、一層のサービス充実を図る必要がある。		A	B
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	22年度における取組のPRと方向性	新鮮で魅力ある資料の収集と各種事業・サービスの充実を図り、読書の普及と図書館利用を促進する。また本年度は国民読書年でもあり、図書館としての取組は、5月5日及び「やちまた教育の日」月間としてのPRも含め、11月3日の祝日を開館する。				
	事務事業の今後の方向性	取組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 図書館は、市民の身近にあって、各人の学習に必要な図書や資料、情報を収集・整理し、その利用に供するという、生涯学習を進める上で基本的、かつ重要な施設である。今後、基本的なサービスの充実を図りつつ、ホームページによる情報提供サービス機能を高める。また、子どもの読書活動の推進、特に子どもを取り巻く大人も含め、乳幼児期から読書に親しむ機会の提供に努める。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 5-3-2

Plan 事務事業の概要

事務事業名	図書館管理運営費(臨時職員の雇用、施設等の維持管理)						部局等	教育委員会	
							課	図書館	
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025	
	施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街							
(八街市総合計画)	具体的施策	自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進							
	実施計画	社会教育活動の推進			開始	2005	終了	2025	
①事務事業の概要	「めぞう！ね(値)」	指標	指標の内	めぞそう値(目標設定)の考え方				現状値	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠	図書館法・八街市立図書館設置条例・八街市立図書館の管理及び運営に関する規則		
直接の対象者(〜に対して)	市民					最終的な受益者	市民		
事業目的(〜という状態にするために)	市民が利用しやすい図書館としての環境整備								
具体的な事業内容(〜を行う)	・臨時職員の雇用：図書の装備、配架、返却などの事務補助 ・業務委託：清掃、警備、電気工作物保安管理、消防設備保守点検、空調設備保守点検業務など ・機器の貸借、使用：複写機、印刷機、トイレ洗浄・静除システムの貸借、書誌データなどの使用 ・施設、設備等の修繕 ・図書館協議会								
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目							

Do 事務事業の実施

区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
		事業の実績	1 臨時職員雇用人数：通常6名、夏季1名・蔵書点検時2名増	人	9	9
	2 各種業務委託件数	件	10	10	10	10
	3 各機器等の貸借・使用件数	件	5	5	6	6
	4 施設、設備の修繕件数	件	9	6	7	1
	5 図書館協議会	回	2	2	2	2
事業の効果						
事業効果に関する外部要因						
事業効果の総合分析(達成できたこと)	臨時職員の雇用や施設、設備の維持管理などにより、安心・安全な環境のもとで、利用者に対して迅速なサービスを提供することができた。					
区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
(最終) 予算額	千円	31,142	27,746	34,751	39,530	
決算額	千円	29,450	27,585	34,351		
	特定・その他財源()	千円				
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	臨時職員賃金	5,896	修繕料	750		
	業務委託料	11,869	図書館協議会委員報酬	92		
	使用料・賃借料	7,958	その他	7,786		

Check 事務事業の評価							
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	b	図書館サービスの提供にあつたては、安全・安心な環境の中で、迅速に対応できるよう求められている。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	市が直接関与するよう法律や条例で定められた公共施設であり妥当である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	図書館運営について、概ね期待通りの成果を得られている。		B	
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	契約内容及び期間の見直しにより経費の節減に努めるとともに効率的な執行を行っている。		B	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	公平性に問題はない	B	
総合評価	総括及び事業実施上の課題		生涯学習の場として、安心・安全な環境のもと、利用者に対して迅速なサービスを提供した。		B	C	
Action 今後の事務事業の方向							
⑥	22年度における取組のPRと方向性	今年度も適切な環境整備と利用者に対する迅速なサービスの提供を確保する。また、蔵書スペースを確保するために書庫の増築等を検討する。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
		今後も図書館としての環境整備の維持、継続に努めるとともに、すべての市民が等しく図書館サービスを受けられるよう生涯学習施設の環境の充実を図る。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 5-4-1

Plan 事務事業の概要

事務事業名	視聴覚教材センター管理運営事業						部局等	教育委員会	
							課	視聴覚教材センター	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025
		施策の大綱	五の街 めざします！心の豊かさを感じる街						
		具体的施策							
	(八街市総合計画)	実施計画				開始	2005	終了	2009
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 視聴覚教材センター設置条例及び運営規則	
直接の対象者(〜に対して)	市民・教職員関係者・青少年相談員・団体関係者など						最終的な受益者	市民	
事業目的(〜という状態にするために)	視聴覚教育を推進し、学校教育及び社会教育を充実し、市民の文化向上を図る。								
具体的な事業内容(〜を行う)	・16ミリ映写機操作講習会の開催 ・視聴覚教材センター委員会議の開催 ・視聴覚教材目録の作成 ・機材・教材の維持管理								

②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目						

Do 事務事業の実施

③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
	事業の実績	16ミリ映写機操作講習会		回	1	1	1	1
		視聴覚教材センター委員会議		回	2	2	2	2
		視聴覚教材目録の作成		回	0	1	0	0
事業の効果	講習会参加者人数		人	5	5	4	4	
事業効果に関する外部要因								
事業効果の総合分析(達成できたこと)		16ミリ映写機操作講習会は、近年の機材の変化等により、講習会参加者が減少傾向にある。						

④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
	(最終)予算額		千円		305	531	204	167
	決算額			千円	255	446	181	0
		特定・その他財源()		千円				
		一般財源		千円	255	446	181	
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報償費	30					
		需用費	98					
		負担金	46					

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由	二次評価		
⑤ 事務事業 の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	b	16ミリフィルムを利用した学習活動を行う場合、操作講習会修了証が必ず必要となる。		
		市の関与は妥当ですか	b	市内唯一の16ミリ映写機講習会である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	講習会で学んだことを、受講者が学習活動の場で活用しているが、近年の機材等の変化により、活用する機会が減少傾向にある。		
	効率性	事業の効率性を高められますか	c	講習会について、必要性・有効性を考慮し、隔年での実施等を検討する。目録印刷については、自前で作成できるように検討する。		
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市全体の教育活動の場で反映されており、公平性に問題はない。	
総合評価	総括及び事業実施上の課題		事業全体の継続性は必要だが、内容の見直しが必要と思われる。		B	C

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	今年度も講習会を開催し、より多くの方に受講していただき、視聴覚教育の有効性や16ミリフィルムの持つ魅力を理解していただき、効果的な学習活動の展開と、より魅力的でゆとりある学習活動の展開を図る。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 講習会については、必要性・有効性を考慮し、年1回の実施を隔年での実施等について検討する。目録印刷を自前で作成できるように検討し、経費削減を図る。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 5-4-2

Plan 事務事業の概要

事務事業名	視聴覚教材整備事業						部局等	教育委員会	
							課	視聴覚教材センター	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						
		具体的施策							
	(八街市総合計画)	実施計画				開始	2005	終了	2009
		「めざそう！ね(値)」指標	教材利用回数	指標の内容	めざそう値(目標設定)の考え方		20の増を目標	現状値	183
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 視聴覚教材センター設置条例及び運営規則	
直接の対象者(〜に対して)	機材・教材の各種団体への貸出						最終的な受益者	市民	
事業目的(〜という状態にするために)	視聴覚教育を推進し、学校教育及び社会教育を充実し、市民の文化向上を図る。								
具体的な事業内容(〜を行う)	視聴覚機材・教材を購入整備して、各種団体に対して、貸出を行う。								

②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	

D. 事務事業の実施

③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)
	事業の実績	機材の購入	台	2	4	0	0
		教材の購入	本	27	13	15	15
事業の効果	機材貸出件数	件	574	805	641	650	
	教材貸出件数	件	191	183	167	170	
事業効果に関する外部要因							
事業効果の総合分析(達成できたこと)	視聴覚機材・教材の活用により、市民に対する効果的な学習活動の展開と、より魅力的でゆとりある学習活動の展開を図ることができた。						

④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)
	(最終)予算額		千円	595	627	380	380
	決算額		千円	563	593	380	0
		特定・その他財源()	千円		200		
		一般財源	千円	563	393	380	
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		備品購入費 380					

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由	二次評価		
⑤ 事務事業の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	b	視聴覚教育を進める中で、機材・教材の購入は必要である。		
		市の関与は妥当ですか	b	特に教材については、著作権の問題もあり、高価なものの為、市での購入が妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	視聴覚機材・教材の活用により、市民に対する効果的な学習活動の展開と、より魅力的でゆとりある学習活動の展開を図ることができた。		
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	視聴覚教育を進める中で、機材・教材の購入は必要である。		
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市全体の教育活動の場で反映されており、公平性に問題はない。	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題		既存の機材・教材の有効活用を図りつつ、利用団体等の要望を踏まえた、新たな教材の購入ができた。		B

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	今年度も、予算の範囲内において、有効に活用できる教材の購入をする。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		既存の機材・教材の有効活用を図りつつ、新たな機材・教材も確保する。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 5-5-1

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	郷土資料館管理運営事業						部局等	教育委員会		
							課	郷土資料館		
						職・氏名	主査・進藤泰浩			
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了	2025	
	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
	具体的施策	文化の保護・継承								
	実施計画	文化財保護意識啓発活動				開始	2005	終了	2009	
① 事務事業の概要	(八街市総合計画)	「めざそう！ね(値)」	指標	郷土資料館来館者数	指標の内容	文化財に対する関心の高	めざそう値(目標設定)の考え方	20%増	現状値	1426人
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律・社会教育法・博物館法・八街市郷土資料館設置条例		
	直接の対象者(〜に対して)	市内外の全ての人				最終的な受益者	市内外の全ての人			
	事業目的(〜という状態にするために)	市民の方々から寄贈された各種資料や発掘調査で得られた考古資料等を広く保存・公開し、多くの人に八街市の歴史を理解していただく。								
	具体的な事業内容(〜を行う)	<input type="checkbox"/> 常設展示の開催 <input type="checkbox"/> 企画展示の開催 <input type="checkbox"/> 古文書講座等の開催 <input type="checkbox"/> 体験参加型の展示								
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	八街市の貴重な文化財・各種歴史資料を保存・展示・収蔵する施設として、プレハブは不適格である。							
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)			
	事業の実績	1	企画展の開催数	回	1	1	1	1		
		2	古文書講座の開催日数	日	5	5	5	6		
	事業の効果	1	入館者数	人	1514	2023	2210	2300		
		2	企画展の観覧者数	人	759	885	933	950		
		3	古文書講座応募者数	人	21	17	22	100		
	事業効果に関する外部要因									
事業効果の総合分析(達成できたこと)		最小限の予算で最大限の効果を発揮するよう、郷土資料館事業全般で努力をした。ここ数年、年間入館者数、企画展観覧者数ともに増加の一途をたどっており、効果が上がっている。								
④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	5,456	2,745	2,677	2,765			
	決算額			千円	5,408	2,707	2,649	2,765		
		特定・その他財源()		千円						
	一般財源		千円	5,408	2,707	2,649	2,765			
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			賃金:1,224、報償費:70、需用費:393、役員費:744、委託料:92、工事請負費:58、備品購入費:68							

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	近年では、団塊の世代の人々の中でも「八街市の歴史を知りたい」という気持ちは深まっており、郷土資料館の果たす役割はさらに重要性を増している。		A
		市の関与は妥当ですか	a	広く八街の歴史を理解していただくため、企画展を開催し、古文書講座や歴史講座を定期的に開催することによって、最新の研究の成果を発表する場を設けている。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	「開墾以前の歴史はなかった」という誤った歴史観が改まりつつある。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	すでに経費節減に努めており、効率的な執行を図っている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	広く一般に無料で開放している施設であり、公平性は保たれている。	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題		郷土資料館は常に最新の調査・研究の成果を展示し、市民のみならず、来館される全ての方に八街の歴史を知っていただく施設として機能しており、継続して実施していく必要がある。また、今後、学校教育との連携を進めることによって、さらに活用いただけるよう努めていく必要がある。		A	A

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	郷土資料館の展示内容についてはまだまだ未完成であり、イラストを多用したより分かりやすいものに改善していく必要がある。また、企画展や体験参加型の展示をすることによって、より一層の充実を図る必要がある。							
	事務事業の今後の方向性	取組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		郷土資料館は、社会教育のみならず、学校教育においても重要な位置づけとなるため、更なる拡充をし、活用に努める必要がある。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 5-6 -1

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	市史編さん事業						部局等	教育委員会			
							課	郷土資料館			
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画)	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025		
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
		具体的施策	文化の保護・継承								
		実施計画	文化財保護意識啓発活動				開始	2005	終了	2009	
		「めぞう！ね(館)」指標	市資料集発刊数	指標の内容	資料集の整備状況	めぞう値(目標設定)の考え方:	1冊の発刊	現状値	1冊		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	公文書館法・八街市史編さん委員会条例				
直接の対象者(〜に対して)	市内外の全ての人					最終的な受益者	市内外の全ての人				
事業目的(〜という状態にするために)	八街市の歴史を調査・研究し、後世に歴史遺産を伝えるため。										
具体的な事業内容(〜を行う)	<input type="radio"/> 市史編さん委員会 <input type="radio"/> 市史編さん委員会 考古専門部会 <input type="radio"/> 市史編さん委員会 近世専門部会 <input type="radio"/> 八街市史関連図書の刊行										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
	予算を多く付けて早めに刊行してほしい。										
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)				
	事業の実績	1	市史編さん委員会開催日数	日	2	2	2	2			
		2	考古専門部会開催日数	日	1	1	1	2			
		3	近世専門部会開催日数	日	2	5	3	3			
	事業の効果	1	市史編さん委員会審議件数	件	4	4	4	4			
		2	考古専門部会委員のべ活動日数	日	25	22	23	40			
		3	近世専門部会委員のべ活動日数	日	104	131	112	105			
		4									
	事業効果に関する外部要因										
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		平成15年度に近世部会、平成17年度に考古部会を結成し、近世部会では平成21年度に「八街市史 資料編 近世二」を刊行し、現在は「八街市史 資料編 近世三」の刊行に向けて作業を進めているところである。考古部会では「(仮称)考古資料からみた八街の歴史」を平成23年度に刊行する予定で作業を進めている。								
④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	3,387	3,904	6,392	4,563				
	決算額			千円	3,375	3,895	6,340	4,563			
		特定・その他財源()	千円								
		一般財源	千円		3,375	3,895	6,340	4,563			
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報酬:219、報償費:1,574、旅費:16、需用費:3、128、役務費:1,381、負担金:22									

Check 事務事業の評価							
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市民の「八街の歴史を知りたい」という気持ちは深まっており、早急に古文書をはじめとする各種資料の調査、解説を進める必要がある。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	市の歴史を明らかにする作業であり、市が直営で実施するべきである。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	「八街市史 資料編 近世一・二」の刊行により、徐々にではあるが、効果が上がっている。		B	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	長期的な作業の蓄積と視野が必要であり、これ以上の効率性は認められない。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	事業の成果は「八街市史」として広く公開されるので、公平性に問題はない。		A
総合評価	総括及び事業実施上の課題		市は、自己の成り立ちをはじめとする歴史について調査し、研究を進め、一定の見解を示す必要があるため、さらに市史編さん事業を推し進め、速度を上げていく必要がある。		A	A	
Action 今後の事務事業の方向							
⑥	22年度における取組のPRと方向性	平成23年度に「考古資料からみた八街の歴史」を刊行予定であり、「八街市史 資料編 近世三」刊行に向けた古文書整理を継続していく。					
	事務事業の今後の方向性	<p style="text-align: center;">取組み方向</p> <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了					
		現在進めている「近世資料編」刊行事業においては、古文書を読める専門職員の必要性を痛感する。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 6-1-1

Plan 事務事業の概要

事務事業名	スポーツ振興等事業(保健体育総務費)						部局等	教育委員会	
							課	スポーツ振興課	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025
		施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街						
		具体的施策	自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進						
	(八街市総合計画)	実施計画	生涯スポーツの推進			開始	2005	終了	2009
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	八街市スポーツ振興審議会条例 八街市体育指導委員に関する規則	
直接の対象者(～に対して)	スポーツ関係者						最終的な受益者	市民	
事業目的(～という状態にするために)	市のスポーツ振興を図るため、指導者の育成推進等								
具体的な事業内容(～を行う)	・スポーツ振興審議会委員、体育指導委員会の開催 ・印旛郡市体育協会負担金支出 ・スポーツ振興事業国内遠征激励費支出								
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目							

Do 事務事業の実施

③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
	事業の実績	スポーツ振興審議会会議		回	2	1	2	2
		体育指導委員会会議		回	7	5	6	6
事業の効果	本市スポーツ振興に係る基本的経費となっている。							
事業効果に関する外部要因								
事業効果の総合分析(達成できたこと)	本市スポーツ振興に係る基本的経費となっている。体育指導委員については、市民体育祭をはじめとする各種大会等において、競技役員として活躍している。							
④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
	(最終)予算額		千円	2,813	3,764	4,097	4,557	
	決算額			千円	2,589	3,377	3,630	0
		特定・その他財源()	千円					
		一般財源	千円	2,589	3,377	3,630		
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			報酬	876 役務費		346		
			臨時職員賃金	1,267 負担金・補助金		663		
			需用費	400 公課費		76		

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由		二次評価	
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市のスポーツ振興に対する市民のニーズは高くなっており、また、スポーツ振興の重要施策を審議・決定するスポーツ振興審議会会議、各行事等役員に関わる体育指導委員会会議は、市民の生活に直接関係があるため、必要である。		A	
	市の関与は妥当ですか	a	法に基づき市スポーツ振興の重要事項を審議、決定する機関であり不可欠である。			
有効性	期待された効果は得られていますか	a	スポーツ振興審議会会議2回、体育指導委員会会議6回実施した。本市スポーツ振興に係る基本的経費となっている。		A	
効率性	事業の効率性を高められますか	a	スポーツ振興審議会会議については、必要時に招集し行っている。職員の欠員に対しては、臨時職員を雇用・活用し業務を行っている。		A	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	スポーツ振興審議会会議等で決定された事項は、市のスポーツ振興、各行事の円滑な運営に繋がるもので、公平性に問題はない。	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題		市民のニーズに対応するため、スポーツ振興審議会会議への諮問を基本とし、業務を遂行していく。		A	A

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	教育を取り巻く環境が激変する中、スポーツ振興におけるスポーツ振興審議会をはじめ、体育指導委員会等の各種団体の意見を各種会議の場で集めながら、今後のスポーツ振興に役立てていく。また、「やちまた教育の日」制定にあたり、PRに努める。なお、平成22年度は国民体育大会デモンストレーション競技として、バウンドテニスが入街市を会場として実施される。円滑な運営にあわせ、入街市をPRする場として位置づけてまいりたい。						
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 スポーツ振興審議会は、市スポーツ振興の重要事項を審議・決定する機関であり、継続して実施していく必要がある。さらに、現状を把握し、本市の一層のスポーツ振興を図っていく必要がある。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 6-1-2

Plan 事務事業の概要

① 事務事業の概要	事務事業名	各種スポーツ大会の開催等(体育振興費)					部局等	教育委員会			
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画)	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025		
		施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街					課	スポーツ振興課		
		具体的施策	自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進					職・氏名	主査・酒和裕一		
		実施計画	生涯スポーツの推進			開始	2005	終了	2009		
	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方			現状値		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	スポーツ振興法 各種大会開催経費等			
直接の対象者(〜に対して)	市民					最終的な受益者	市民				
事業目的(〜という状態にするために)	各種スポーツ大会を開催し、市民の健康増進と相互の親睦を深める。										
具体的な事業内容(〜を行う)	市民を対象とした各種スポーツ大会の開催 ・市民ゴルフ大会(5月)、近隣中学校交流野球大会(6月)、スポーツレクリエーション祭(8~9月)、少年野球教室(12月)、近隣中学校交流柔道大会(1月)、ロードレース大会(2月) 各種スポーツ団体への活動補助金の交付 ・体育協会 ・スポーツ少年団 ・家庭婦人バレーボール連盟										

②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目							

Do 事務事業の実施

③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)
	事業の実績	市民ゴルフ大会		回	1	1	1
市スポーツ・レクリエーション祭		回	4	4	4	4	
少年野球教室、市ロードレース大会		回	各1	各1	各1	各1	
事業の効果	市民ゴルフ大会		人	152	152	142	150
	市スポーツ・レクリエーション祭(インディアカ、ソフトバレー、グラウンドゴルフ、パークゴルフ)		人	412	457	459	450
	少年野球教室		人	232	238	239	250
	市ロードレース大会		人	246	277	328	350
事業効果に関する外部要因							
事業効果の総合分析(達成できたこと)		平成21年度において、市民ゴルフ大会(26回)、少年野球教室(32回)、市ロードレース大会(32回)となり市民に定着した事業となっている。					

④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
	(最終)予算額		千円	4,133	3,904	4,505	4,311	
	決算額			千円	4,008	3,896	4,395	0
		特定・その他財源()		千円			200	
		一般財源		千円	4,008	3,896	4,195	
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報償費(講師等謝礼)		229	役務費(保険料)	168		
		需用費(消耗品費)		414	備品購入費	210		
		需用費(食糧費)		324	補助金	3,050		

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由		二次評価	
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	本事業は、「生涯スポーツの推進」への貢献が大きいと考える。また、実施回数及び参加人数からも市民のニーズの高さがうかがえる。		A	
	市の関与は妥当ですか	a	市主催事業として、妥当であると考えます。			
有効性	期待された効果は得られていますか	a	実施回数、参加人数の推移からも効果は得られていると考える。		A	
効率性	事業の効率性を高められますか	a	効率性を高めながら現在に至っている。		A	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	公平性は保たれている。	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題		各事業実施前後、関係団体等との打合せ会議を行い、前回の反省、次回への反映について協議を行い毎年実施している。今後、更に公平性、市民のニーズに応じていく。		A	A

Action 今後の事務事業の方向

22年度における取組のPRと方向性	関係機関・団体との会議の場や、市広報の活用により開催事業等のPRに努める。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	本市のスポーツ振興、生涯スポーツの振興に必要不可欠であり、継続して実施していかなければならない。さらに現状を把握し、一層の活性化を図ることが必要である。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 6-1-3

Plan 事務事業の概要

事務事業名	市民体育祭の開催(市民体育祭運営費)						部局等	教育委員会	
							課	スポーツ振興課	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025
		施策の大綱	五の街 めざします！心の豊かさを感じる街						
		具体的施策	自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進						
	(八街市総合計画)	実施計画	生涯スポーツの推進			開始	2005	終了	2009
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	スポーツ振興法	
直接の対象者(～に対して)	市民						最終的な受益者	市民	
事業目的(～という状態にするために)	市民の健康づくりとレクリエーションに対する意識を高め、併せて地域の融和を図る。								
具体的な事業内容(～を行う)	スポーツの祭典を通じて市民の健康づくりとレクリエーションに対する意識を高める。10月開催。								

②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	

Do 事務事業の実施

③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)
	事業の実績	市民体育祭		回	1	1	中止
事業の効果	市民体育祭参加者数		人	2016	2199	中止	2200
事業効果に関する外部要因							
事業効果の総合分析(達成できたこと)		本市最大のスポーツ行事であり、市民の健康づくりとレクリエーションに対する意識を高め、地域の融和を図ることに寄与している。平成21年度で第54回であったが、新型インフルエンザの感染拡大を防ぐため中止となった。					

④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)
	(最終)予算額		千円	3,116	2,709	21	3,086
	決算額		千円	2,918	2,687	21	0
		特定・その他財源()	千円				
	一般財源	千円	2,918	2,687	21		
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費(消耗品費)		21			

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由	二次評価		
⑤ 事務事業 の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市の教育行政に対する市民のニーズは高くなっており、生涯スポーツ振興についても同様である。市内全域より集まる本市最大のスポーツ行事となっている。		
		市の関与は妥当ですか	a	スポーツ振興法に唱われているように、体育の日において「ひろく国民があらゆる地域及び職域でそれぞれその生活の実情に即してスポーツをすることができるような行事が実施されるよう」市が関与する必要がある。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	平成21年度はインフルエンザ拡大防止のため中止となったが、第54回の歴史があり、例年の参加者数からも成果がみられる。		
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	毎年度、行事前後に関係団体等による会議を開催し、協議検討を行い次年度の実施を行っている。一部業務を外部委託するなど、効率性を高めてきている。		
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市全体を各支部に分け参加者を募り、また、運動能力テスト、オープン参加競技等もあるため、公平性に問題はない。	
総合評価	総括及び事業実施上の課題		毎年度、前回の反省点を検証し次回大会を実施し今日に至っている。今後、さらに市民のニーズに応じていく。		B	B

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	例年実施しているように、関係団体等の会議はもとより、市広報、防災無線等によりPRに努める。						
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 体育の日の行事として継続して実施していかなければならないが、さらに現状を把握し、一層の充実を図ることが必要である。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 6-1-4

Plan 事務事業の概要

① 事務事業の概要	事務事業名	八街市ピーナッツ駅伝大会の開催(八街市ピーナッツ駅伝大会運営費)					部局等	教育委員会		
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画)	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025	
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街					課	スポーツ振興課	
		具体的施策	自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進					職・氏名	主査・酒和裕一	
		実施計画	生涯スポーツの推進			開始	2005	終了	2009	
	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	スポーツ振興法			
直接の対象者(～に対して)	市民					最終的な受益者	市民			
事業目的(～という状態にするために)	冬季スポーツの一環として実施し、体力の向上とランニングについての関心を高め、地域融和の発展を図る。									
具体的な事業内容(～を行う)	駅伝大会の実施。 ・一般の部(5区間、21.00km)・高校の部(5区間、21.00km)・中学男子の部(8区間、21.00km) ・女子の部(5区間、12.35km)・オープンの部(5区間、21.00km)									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								

Do 事務事業の実施

③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
	事業の実績	八街市ピーナッツ駅伝大会		回	1	1	1	1
事業の効果	八街市ピーナッツ駅伝大会参加者数		人	341	417	448	450	
事業効果に関する外部要因								
事業効果の総合分析(達成できたこと)		冬季スポーツの一環として実施し、体力の向上とランニングについての関心を高め、地域融和の発展を図った。平成21年度において、第53回となっている。						
④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
	(最終)予算額		千円	914	896	962	887	
	決算額			千円	892	838	948	0
		特定・その他財源()	千円					
	一般財源		千円	892	838	948		
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報償費(医師等謝礼)		93 役務費(保険料)		50		
		需用費(消耗品費)		240 自動車借上料		378		
		需用費(食糧費)		92 仮設トイレ賃借料		95		

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由		二次評価	
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	生涯スポーツについて市民の関心は高まっている。参加者数の増加からも市民のニーズが高まっている。		A	
	市の関与は妥当ですか	a	体力の向上とランニング意識の高揚のため、市主催冬季行事として妥当であると考える。			
有効性	期待された効果は得られていますか	a	平成21年度で第53回の歴史があり、参加者数からも成果がみられる。		A	
効率性	事業の効率性を高められますか	a	毎年度、行事前後に関係団体等による会議を開催し、協議検討を行い次年度の実施を行っている。平成21年度にコース・区間の変更を行い、安全性、効率性を高めてきている。		A	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	5部門に分け募集を行い、それぞれの体力に見合うコース・区間設定を行っており、公平性に問題はない。	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題		毎年度、前回の反省点を検証し次回大会を実施し今日に至っている。今後、さらに市民のニーズに応じていく。		A	A

Action 今後の事務事業の方向

22年度における取組のPRと方向性	例年実施しているように、関係団体等の会議はもとより、市広報等によりPRに努める。							
事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
	冬季行事として継続して実施していかなければならないが、さらに現状を把握し、一層の活性化を図ることが必要である。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 6-3-1

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	体育施設の維持管理事業(体育施設維持管理費)						所管課等	部局等	教育委員会	
								課	スポーツ振興課	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025	
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
		具体的施策	自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進							
	(八街市総合計画)	実施計画	生涯スポーツの推進			開始	2005	終了	2009	
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠			
直接の対象者(〜に対して)	社会体育施設(市営運動場)						最終的な受益者	市民		
事業目的(〜という状態にするために)	市営運動場を維持管理し、安全に利用できるよう努め、市民の心身の健全な発達に寄与する。									
具体的な事業内容(〜を行う)	社会体育施設を維持管理し、安全に利用できるよう努める。 ・グラウンド等光熱水費 ・グラウンド等土地賃借料 ・グラウンド等施設保守管理委託料									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	体育・健康施設整備							
			野球場の整備							
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	事業の実績	区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)			
		グラウンド等光熱水費	千円	5185	5152	4897	5350			
		グラウンド等土地賃借料	千円	14689	14686	14681	14685			
	グラウンド等施設保守管理委託料	千円	3940	5820	6648	8109				
	事業の効果	社会体育施設利用状況	人	84722	105397	88464	90000			
		(中央、東部、西部、南部、北部グラウンド、榎戸サッカー場 ※中央公園テニスコートは平成20年度まで)								
事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析(達成できたこと)	市営運動場を維持管理し、安全に利用できるよう努め、市民の心身の健全な発達に寄与した。									
④ 事業コスト	区分	単位		19年度	20年度	21年度	22年度(目標)			
	(最終)予算額	千円		24,599	26,458	27,813	28,749			
	決算額		千円		24,289	26,100	27,513	0		
		特定・その他財源()	千円		1,278	1,246	1,419			
		一般財源	千円		23,011	24,854	26,094			
	需用費(消耗品)		600 役務費(し尿汲取手数料)			213				

Check 事務事業の評価							
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	生涯スポーツの関心の高まりとともに、利用ニーズは高い。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	市の管理施設のため不可欠である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	得られている。		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	緑地保守業務等、外部委託により効率性を図ってきている。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	利用者(市民)からは使用料を徴収しており、公平性は保たれている。	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題		市民のスポーツ・レクリエーションのための施設として、安全な利用のため概ね適正に維持管理されている。		A	A	
Action 今後の事務事業の方向							
⑥	22年度における取組のPRと方向性	市民が安全に利用できるよう、適正な維持管理を行っていく。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
		社会体育施設の維持管理は継続して実施していかなければならないが、さらに現状を把握し、一層利用しやすい施設として整備、管理に努めていく必要がある。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 6-2-1

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	学校保健事業						部局等	教育委員会		
							課	学校教育課		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025	
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
		具体的施策	学校教育の充実							
	(八街市総合計画)	実施計画	健康づくりの推進				開始	2005	終了	2009
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容		めざそう値(目標設定)の考え方		現状値		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				実施根拠				
	直接の対象者(〜に対して)	幼稚園児・児童・生徒・養護教諭・保健主事				最終的な受益者	幼稚園児・児童・生徒・保護者			
	事業目的(〜という状態にするために)	・学校管理下における児童、生徒等の災害に対し精神的、経済的負担の軽減を図る。 ・学校保健会、養護教諭会、保健主事会の健全な運営を図る。								
	具体的な事業内容(〜を行う)	・負担金(日本スポーツ振興センター災害共済掛金、県郡学校保健会、県郡養護教諭会、県郡保健主事会)								
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)			
	事業の実績	1	日本スポーツ振興センター災害共済掛金	人	7,836	7,605	7,334	6,951		
		2	学校保健会・養護教諭会・保健主事会負担金	千円	210	201	228	222		
	事業の効果	1	児童生徒に対する共済給付	人	420	359	290			
		2	学校保健会・養護教諭・保健主事会の健全な育成	千円	210	201	228	222		
	事業効果に関する外部要因		・児童・生徒数の減少により、スポーツ振興センター災害共済掛金は減額されている。							
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		・学校管理下における児童・生徒の事故等に対し、災害給付を行うことにより、幼稚園児、児童、生徒及び保護者の精神的、経済的負担を軽減できた。							
④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	15,964	7,053	6,948	6,624			
	決算額			千円	15,857	7,052	6,827	0		
		特定・その他財源()	千円							
		一般財源	千円	15,857	7,052	6,827				
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		11需用費 22(千円) 19負担金 6,805(千円)								

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	安心・安全な学校生活を送るため、対象者からのニーズは高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	学校管理下における児童・生徒等の災害に対し必要な事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	幼稚園児、児童、生徒及び保護者の精神的、経済的負担の軽減が図られる。学校保健会等の健全な運営が図られる。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	月1回、学校(園)から申請のあったものを確認のうえ、遅滞なく日本スポーツ振興センターに提出しており、給付金についても適正に処理している。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	全市立幼稚園児、児童・生徒が対象であり、公平性はあるが、受益者負担はない。	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題		安心・安全な学校生活を送るため必要性の高い事業である。		A	A
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	22年度における取組のPRと方向性	保護者、学校、教育委員会、日本スポーツ振興センターの連携を密にし、申請もれ、加入もれ等が生じないよう適切に処理する。				
	事務事業の今後の方向性	<p style="text-align: center;">取り組み方向</p> <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		関係機関と連携し、適正に事業を実施する。 けが、事故等を未然に防ぐため、学校保健会、養護教諭、保健主事と連携し、安全教育や安全点検等を充実する。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 6-2-12

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	学校保健管理事業						部局等	教育委員会		
							課	学校教育課		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025	所管課等 職・氏名 副主幹 太田文子 電話番号 内線 2366 E-mail gakkyo@city.yachimata.lg.jp
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
	具体的施策	学校教育の充実								
	(八街市総合計画) 実施計画	健康づくりの推進	開始	2005	終了	2009				
	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容		めざそう値(目標設定)の考え方		現状値			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	学校保健安全法			
直接の対象者(〜に対して)	幼稚園児・児童・生徒・教職員					最終的な受益者	幼稚園児・児童・生徒・教職員			
事業目的(〜という状態にするために)	・幼稚園児、児童、生徒及び教職員の健康保持増進を図ることにより、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資する。 ・安全で衛生に配慮した学校給食を供給する。									
具体的な事業内容(〜を行う)	・幼稚園児、児童、生徒の健康診断 ・教職員健康診断 ・就学時健康診断 ・環境検査測定業務 ・給食補助員の配置									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)			
	事業の実績	1	幼稚園児・児童・生徒・教職員の健康診断及び就学時健康診断	人	8,970	8,717	7,812	7,942		
		2	環境検査(水質・空気・照度等)	園 学校数	16	16	16	16		
		3	給食補助員の配置	人	—	17	19	19		
	事業の効果	1	健康保持増進及び疾病の早期発見指導及び早期治療	人	8,970	8,717	7,812	7,942		
		2	学校環境の衛生的な維持	園 学校数	16	16	16	16		
		3	安全で衛生に配慮した学校給食の供給	人	—	17	19	19		
	事業効果に関する外部要因		・給食補助員の配置事業については、19年度までは小学校のみの配置であったが、20年度に2中学校に配置し、21年度より沖分校を除く市内全小中学校に配置した。							
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		・幼稚園児、児童、生徒及び教職員の健康管理及び学校環境を衛生的に保持した。							
	④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)		
(最終)予算額		千円	24,187	33,563	34,962	33,859				
決算額				千円	24,105	33,421	33,784	0		
		特定・その他財源()	千円							
一般財源		千円	24,105	33,426	33,784					
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		1報償費 10,746(千円)	12役員費 1,906(千円)							
		7賃金 9,760(千円)	13委託料 9,659(千円)							
		11需用費 2,077(千円)	14使用料 294(千円)							

Check 事務事業の評価							
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	健全育成や健康づくりの観点からニーズは高い。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	学校保健安全法の規定及び学校環境衛生の基準による事業のため妥当である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	健康に対する関心が高くなり、健康教育の一環となっている。健康保持増進及び疾病の早期発見、指導及び早期治療。学校環境を衛生的に維持した。		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	給食補助員については、臨時職員。時間給対応により委託よりも安価となっている。健康診断検査等は検診専門機関委託。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	対象者は市立幼稚園児、児童、生徒及び学校教職員全員であるため公平である。	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題		学校保健安全法の規定及び学校環境衛生の基準にそって適正に実施している。		A	A	
Action 今後の事務事業の方向							
⑥	22年度における取組のPRと方向性	各健康診断等については年間計画に沿って適正に実施する。未受診者の事後指導を実施する。 給食配膳室の衛生管理を充実する。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
		学校保健安全法の改正等に留意し、適切に事業を推進する。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 6-3 -1

Plan 事務事業の概要

事務事業名	体育施設の維持管理事業(体育施設維持管理費)						部局等	教育委員会				
							課	スポーツ振興課				
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025			
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街						電話番号	443-1465	内線	
		具体的施策	自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進						E-mail	suposhin@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画)	実施計画	生涯スポーツの推進			開始	2005	終了	2009			
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠					
直接の対象者(～に対して)	社会体育施設(市営運動場)						最終的な受益者	市民				
事業目的(～という状態にするために)	市営運動場を維持管理し、安全に利用できるよう努め、市民の心身の健全な発達に寄与する。											
具体的な事業内容(～を行う)	社会体育施設を維持管理し、安全に利用できるよう努める。 ・グラウンド等光熱水費 ・グラウンド等土地賃借料 ・グラウンド等施設保守管理委託料											

②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	体育・健康施設整備
			野球場の整備

Do 事務事業の実施

③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)
	事業の実績	グラウンド等光熱水費		千円	5185	5152	4897
グラウンド等土地賃借料		千円	14689	14686	14681	14685	
グラウンド等施設保守管理委託料		千円	3940	5820	6648	8109	
事業の効果	社会体育施設利用状況		人	84722	105397	88464	90000
	(中央、東部、西部、南部、北部グラウンド、榎戸サッカー場 ※中央公園テニスコートは平成20年度まで)						
事業効果に関する外部要因							
事業効果の総合分析(達成できたこと)	市営運動場を維持管理し、安全に利用できるよう努め、市民の心身の健全な発達に寄与した。						

④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
	(最終)予算額		千円		24,599	26,458	27,813	28,749
	決算額			千円	24,289	26,100	27,513	0
		特定・その他財源()	千円		1,278	1,246	1,419	
	一般財源	千円		23,011	24,854	26,094		
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費(消耗品)	600 役務費(し尿汲取手数料)		213			
		需用費(光熱水費)	4,684 委託料		6,648			
		需用費(修繕料)	434 賃借料		14,681			

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由		二次評価	
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	生涯スポーツの関心の高まりとともに、利用ニーズは高い。		A	
	市の関与は妥当ですか	a	市の管理施設のため不可欠である。			
有効性	期待された効果は得られていますか	a	得られている。		A	
効率性	事業の効率性を高められますか	a	緑地保守業務等、外部委託により効率性を図ってきている。		A	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	利用者(市民)からは使用料を徴収しており、公平性は保たれている。	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題		市民のスポーツ・レクリエーションのための施設として、安全な利用のため概ね適正に維持管理されている。		A	A

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	市民が安全に利用できるよう、適正な維持管理を行っていく。						
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	事務事業の今後の方向性	社会体育施設の維持管理は継続して実施していかなければならないが、さらに現状を把握し、一層利用しやすい施設として整備、管理に努めていく必要がある。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 6-4 -1

Plan 事務事業の概要

事務事業名	スポーツプラザ管理運営事業						部局等	教育委員会			
							課	スポーツプラザ			
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025		
		施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街						職・氏名	主査補・加藤京子	
		具体的施策	自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進						電話番号	443-8003	内線
		実施計画	生涯スポーツの推進				開始	2005	終了	2009	
	(八街市総合計画)	「めざましね(値)」	指標	スポーツプラザの利用人数	指標の内容	自ら進んで運動を行っているかどうかを見ます	めざまし値(目標設定)の考え方	130,000人を目標にします	現状値	123,877人	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	八街市スポーツプラザの設置及び管理に関する条例				
直接の対象者(〜に対して)	市民					最終的な受益者	市民				
事業目的(〜という状態にするために)	スポーツプラザ施設の維持管理を適正に行い、利用者が安全にスポーツを楽しむ場を提供する。										
具体的な事業内容(〜を行う)	清掃・警備・施設の管理等の業務委託、老朽化箇所の修繕等を行った。また、バウンドテニス教室等主催事業を継続して行った。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									

D. 事務事業の実施

区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
		事業の実績	千円	16,922	17,030	16,057
委託関係	千円	2,001	1,688	4,789	1,341	
主催事業関係	千円	180	180	156	173	
事業の効果	施設の安全性を維持した。					
	施設の老朽化によるサービス水準の低下を防止した。					
	施設利用件数が増加した。	件	7,251	7,447	7,477	8,200
	施設利用人数	人	108,641	103,481	117,569	129,000
事業効果に関する外部要因						
事業効果の総合分析(達成できたこと)	メインアリーナの床の老朽化により利用者が負傷する事故が発生した。施設の老朽化により修繕箇所が増加してきているが、床面の全面改修等を行い、安全性を確保した。					
区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
(最終)予算額	千円	32,988	31,644	36,214	34,194	
決算額	千円	32,141	31,569	33,298	0	
	特定・その他財源()	千円	5,707	5,705	5,614	
	一般財源	千円	26,434	25,864	27,684	
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	需用費	11,380				
	委託料	16,057				
	使用料及び賃借料	3,246				

Check 事務事業の評価

	区分		一次評価	判定理由		二次評価		
	⑤ 事務事業の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	生涯スポーツへの関心の高まりにより、市民のニーズは高い。		A	
市の関与は妥当ですか			a	市の施設であり、市の関与は妥当。				
有効性		期待された効果は得られていますか	b	施設の老朽化により、利用者が負傷する事故があったが、早急に対応し安全性を確保し、利用に供した。		B		
効率性		事業の効率性を高められますか	a	各種清掃・維持・管理等の業務については外部委託により効率化を図っている。		A		
公平性		事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	利用者からは、利用時間に見合った使用料を徴収しており、公平に運営されている。		A	
総合評価		総括及び事業実施上の課題		施設の老朽化により利用者が負傷する事故が発生した。早急な対応を行い、安全性は確保されたがスポーツ振興に寄与する施設として、より一層の適正な維持管理に努める必要がある。		A	A	

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	平成21年度にメインアリーナ床面の全面改修を行い、安全性の確保を図った。引き続き、適正な維持管理に努め、利便性の確保に努めます。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		施設の維持管理は適切な時期に適切な改修を行うことにより、施設維持費の抑制が期待できる。また、更なる効率化を図るための管理手法の検討をしていきたい。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 6-4-2

Plan 事務事業の概要

事務事業名	スポーツプラザ整備事業						部局等	教育委員会				
							課	スポーツプラザ				
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025			
		施策の大綱	五の街 めざましです！心の豊かさを感じる街						電話番号	443-8003	内線	
		具体的施策	自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進						E-mail	orts.plaza@city.yachimata.lg		
	(八街市総合計画)	実施計画	生涯スポーツの推進			開始	2005	終了	2009			
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	八街市スポーツプラザの設置及び管理に関する条例				
直接の対象者(〜に対して)	市民						最終的な受益者	市民				
事業目的(〜という状態にするために)	スポーツレクリエーション活動の増大・多様化するニーズに対応するために新たな設備の整備を行うことを目的とする。											
具体的な事業内容(〜を行う)	テニスコート夜間照明工事等を行う。											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	体育・健康施設整備									
			室内温水プールの設置									

Do 事務事業の実施

③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
	事業の実績	アリーナ床修繕工事		千円			6,573	
		テニスコート夜間配線管工事		千円			6,195	
事業の効果	床面の安全性維持							
	テニスコートの夜間利用のための一部整備							
事業効果に関する外部要因								
事業効果の総合分析(達成できたこと)		平成21年度では、夜間照明のための電源工事を行った。						
④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
	(最終)予算額		千円	5,820	13,990	20,283	9,838	
	決算額			千円	5,460	13,892	12,768	
		特定・その他財源()	千円		3,900	12,768		
		一般財源	千円	5,460	9,992	0		
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			工事請負費 12,768					

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由		二次評価	
⑤ 事務事業の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市のスポーツ振興の基盤となる施設として安全、安心して利用できる施設整備と、多様化するニーズに対応するための設備の充実が求められている。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市の施設整備と充実は必要不可欠である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	夜間照明について、年次計画的に事業を進めており、補助工事として電源工事を遂行することができた。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	事業の性質から予算化の段階で厳しく効率性を評価されている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	照明設備の利用には応分の負担を予定しており、公平は確保される。	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題		施設の経年劣化により整備の必要性は増しているが、安全に施設を利用するための施設整備の目的はおおむね達成されている。今後、さらにテニスコートの照明設置により、市民の利便性確保に努めている。		A	A

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	テニスコート夜間照明の一部が完成し、供用を開始する予定。						
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
		平成22年度はテニスコート1面だけの照明であるが、継続的に3面分の照明を計画している。その他、利用者ニーズや利用状況などを踏まえながら既存施設や設備の改善・改修に努めていく。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 K -1 -1

Plan 事務事業の概要

事務事業名	学校給食センター一般管理事業						部局等	教育委員会	
							課	給食センター	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025
		施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街						
		具体的施策							
	(八街市総合計画)	実施計画				開始	2005	終了	2009
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	八街市学校給食センター設置条例 八街市学校給食センター管理運営規則 八街市学校給食費徴収規則	
直接の対象者(〜に対して)	幼稚園、小学校、中学校						最終的な受益者	園児、児童、生徒、保護者	
事業目的(〜という状態にするために)	園児、児童、生徒に安定した給食を供給するため。								
具体的な事業内容(〜を行う)	・給食センター運営委員会の開催 ・給食事業に係る臨時職員の雇用 ・給食費収納管理システム導入								

②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	

Do 事務事業の実施

③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)
	事業の実績	1	報酬(給食センター運営委員)	千円	84	93	83
2		賃金等	千円	39,078	7,130	8,120	8,270
3		給食費収納管理用システムの導入等	千円	0	0	2,075	3,549
事業の効果	1	運営委員会開催数	回	3	3	2	3
	2	第一調理場民間委託による臨時職員数	人数	23	4	5	5
	3	収納率の向上	パーセント				95
	4						
事業効果に関する外部要因							
事業効果の総合分析(達成できたこと)		・運営委員会は、給食センター運営に関する重要事項を審議する機関として、運営の向上に寄与した ・第一調理場の民間委託(調理業務)により人件費の抑制をすることができた					

④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
	(最終)予算額		千円		43,652	12,375	17,585	17,125
	決算額		千円		42,439	11,799	16,563	0
		特定・その他財源()	千円		4,063	245	203	
	一般財源	千円		38,376	11,554	16,326		
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報酬 83 賃金等 8,120 給食費収納管理システム 2,075						

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由	二次評価	
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	・運営委員会は給食センター運営に係る重要事項の審議のため必要不可欠	A	
	市の関与は妥当ですか	a	・運営委員会は条例等に基づき重要事項を審議する機関として不可欠		
有効性	期待された効果は得られていますか	a	・調理業務の委託により経費抑制が見込める ・給食費収納業務の一元化が図られた	A	
効率性	事業の効率性を高められますか	a	・第二調理場の委託についても今後検討 ・給食費収納業務の一元化が図られる(事務量の増大により職員の増員が必要)	A	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし 給食費の未納解消による公平性の確保を図る必要がある	B	
総合評価	総括及び事業実施上の課題		給食センターは概ね良好に管理がされているが、給食費の未納額は年々増加の傾向がある。一層の未納者に対する対応の工夫が必要である。平成22年度から口座引き落としにより、直接市に納入される事になるが、保護者への周知徹底が必要である。	A	A

Action 今後の事務事業の方向

22年度における取組のPRと方向性	平成22年度より全ての給食費収納業務が、学校から市へ移行されたことにより、業務が円滑に運営されることが見込まれる また、平成20年度より第一調理場の調理業務の民間委託を実施しているが、問題なく履行されていることから、23年度以降も引き続き民間委託の実施を予定
事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	給食費収納業務の市への移行により、一元化が図られたが、現体制では、未納対策の推進が、困難と思われることから、職員の増員などの未納対策策の強化を図る

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 K -1 -2

Plan 事務事業の概要

事務事業名	学校給食センター調理場維持管理事業						部局等	教育委員会	
							課	給食センター	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025
		施策の大綱	五の街 めざします！心の豊かさを感じる街						
		具体的施策	子どもの教育・健全育成の充実						
	(八街市総合計画)	実施計画	学校教育の充実			開始	2005	終了	2009
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()						実施根拠	学校給食法 八街市学校給食センター設置条例 八街市学校給食センター管理運営規則	
直接の対象者(～に対して)							最終的な受益者	園児、児童、生徒、保護者	
事業目的(～という状態にするために)	給食の円滑かつ安定的な供給を図るために、給食センターの施設、設備等を良好な状態に保つ								
具体的な事業内容(～を行う)	給食センターの施設、設備等の適切な維持管理を行う								
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目							

Do 事務事業の実施

区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
		事業の実績	1 修繕費	千円	5,435	4,082
	2 委託料	千円	14,893	14,968	14,329	15,791
	3 工事請負費	千円	13,078	0	4,221	2,835
③ 実績・成果	事業の効果	1 各施設、設備の修繕				
		2 各施設、設備の維持管理委託				
		3 各施設、設備の改修工事				
		4				
事業効果に関する外部要因						
事業効果の総合分析(達成できたこと)		各施設、設備等を適切に維持管理し、学校給食業務を円滑に運営することができた				
区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)	
当該事業が該当する個別計画等	千円		35,888	19,903	42,339	22,356
決算額	千円		34,047	19,115	23,500	0
	特定・その他財源()	千円				
	一般財源	千円	34,047	19,115	23,500	
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		修繕費	3,769			
		委託料	14,329			
		工事請負費	4,221			

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由		二次評価		
⑤ 事務事業 の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校給食業務を円滑に運営するためには、各施設、設備等の適切な維持管理が必要不可欠		A	
		市の関与は妥当ですか	a	学校給食法に基づき、市が実施する事業である			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	各施設、設備等を適切に維持管理し良好な状態に保ち、安定的な給食の供給ができた		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	各施設、設備等を適切に維持管理し良好な状態に保つと同時にコストの削減も必要である		B	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	給食の調理に要する費用は、全て市の負担となっていることから公平性に問題はない		A
	総合評価	総括及び事業実施上の課題		調理場施設を適正に維持管理し、円滑な供給を行うことが出来た。更に一層のコスト削減をしなければならない		A	A

Action 今後の事務事業の方向

⑥	22年度における取組のPRと方向性	老朽化していたボイラー設備の更新を行うなど、平成21年度繰越予算で、施設、設備等を適切に維持管理し、良好な状態に保つことにより安全で安心な学校給食の調理及び配食を行う						
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
		今後も適切な維持管理を図ることが必要不可欠であるが、同時にコストの削減も検討する						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 K -2 -1

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	学校給食センター調理場給食事業						部局等	教育委員会			
							課	給食センター			
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了	2025		
		施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街						電話番号	444-1181	内線
		具体的施策	子どもの教育・健全育成の充実						E-mail	kyushoku@city.yachimata.lg.jp	
	(八街市総合計画)	実施計画	学校教育の充実				開始	2005	終了	2009	
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方			現状値	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					実施根拠	学校給食法			
直接の対象者(～に対して)	学校給食を受ける児童生徒					最終的な受益者	学校給食を受ける児童生徒の保護者				
事業目的(～という状態にするために)	学校給食事業は児童生徒の心身の健全な発達、食事についての正しい理解、望ましい食生活を身につけることなどを目的としている										
具体的な事業内容(～を行う)	市内13小中学校並びに市内3幼稚園への給食を供給										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)				
	事業の実績	1	消耗品費等	千円	47,502	49,665	39,451	44,447			
		2	賄い材料費	千円	391,892	382,537	367,715	357,093			
		3	委託料	千円	39,595	112,635	113,509	109,951			
	事業の効果	1	給食配食数/日	人	7,733	7,526	7,170	7,100			
		2									
		3									
		4									
	事業効果に関する外部要因	第一調理場(調理業務)を平成20年度より民間委託									
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	安全で安心な学校給食を円滑に配食することができた									
④ 事業コスト	区分		単位	19年度	20年度	21年度	22年度(目標)				
	(最終)予算額		千円		489,120	549,378	526,690	515,104			
	決算額		千円		568,210	548,912	524,444	0			
		特定・その他財源()	千円		487,473	377,890	363,373				
		一般財源	千円		80,737	171,022	161,071				
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		賄い材料費	367,715								
		委託料	113,509								
		備品購入費	2,397								

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由		二次評価	
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校給食事業は児童生徒の心身の健全な発達、食事についての正しい理解、望ましい食生活を身につけることなどを目的としている		A	
	市の関与は妥当ですか	a	学校給食法により、給食事業は必要不可欠			
有効性	期待された効果は得られていますか	a	児童生徒の心身の健全な発達、食事についての正しい理解、望ましい食生活を身につけることができた		A	
効率性	事業の効率性を高められますか	a	材料の選定や献立の工夫等による、学校給食内容の充実が図られている		A	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	b	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	保護者から賄い材料費を給食費として徴収しているが、未納が増加傾向にある	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題		学校給食は、児童・生徒にとって不可欠なものであり、安全安心な供給を円滑に行うことができた		A	A

Action 今後の事務事業の方向

22年度における取組のPRと方向性	給食費は賄い材料費として全額充当しているが、未納者が増加していることから給食費収納管理システムを活用した一層の未納対策を進める。また、食材の高騰等の懸念もあるが、質を落とさず、材料の選定や献立の工夫等により、給食内容の充実を図る						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	平成20年度から、第一調理場の民間委託(調理業務)に続き、第二調理場の民間委託についても人件費等の比較検討をしながら、総合的に判断し今後の方向性を考える。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価